大正四年三月一日發行大正三年二月二十六日印刷納本
明治三十七年五月七日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）

女子青年界

第拾貳巻第參號

要目

女子青年會第十二巻第三號

目次

YOUNG WOMEN OF JAPAN

(JOSHI SEINEN KAI)

Volume XII March, 1915 Number 3.

生徒募集

○普通部　一學年六十名、上級若干名。
○專門部　音樂部及英語專修科若干名。

願書受付　三月廿九日限
入學試驗　四月一日

神戸市山本通四丁目
文部省指定 認可私立　神戸女學院

女生徒募集廣告

仙臺市中島丁

本科第一學年（尋常小學校卒業者）　廿五名
本科第二、三學年　若干名
家政科第一學年（高等小學校第二學年終了者）　十名
出願期日　三月三十一日迄
入學試驗　四月六日午前九時

詳細ハ本校ニ照會

大正四年二月　文部大臣指定　私立尚絅女學校

院長診察（月、水、木、金、午前）入院診斷後應需
松田、林、峰間、三副長は目下當院に在勤

東洋内科醫院

電話本局　八八八（病院用）　八九八（私宅用）

東京神田區駿河臺鈴木町二
御茶水橋附近

院長　醫學士　高田畊安

神奈川縣高座郡茅ヶ崎町相海濱
從停車場半里

南湖院

電話チガサキ二番

河野、高橋、兩副長は目下當院に在勤
院長診察、土曜日午後、入院、診後應需

■新學期開始　四月上旬

此際、高等女學校卒業以上の學力を有する滿十八歳以上の婦人にして傳道者としての使命を感ずる者は所在傳道者の薦書を添へて申出づべし。

横濱山手二〇九番

共立女子神學校

右志願者は講讀作文習字及地理歷史を試驗の上、四月より三ヶ月間假入學を許し、考試を經て十月の新學年より滿三年間在學せしむ。

■規則書希望者　貳錢券送附を要す

大正四年四月

新學期開始

邦語科　修業五ヶ年

一學年無試驗入學

高等小學修學の者は試驗の上相當の學級に編入す

英語科　修業五ヶ年

邦語科に同じ

裁縫專修科　修業三ヶ年

女學校二學年修業程度以上の者は裁縫專修科一學年に編入す

文部省指定　靜岡縣靜岡市西草深町

私立靜岡英和女學校

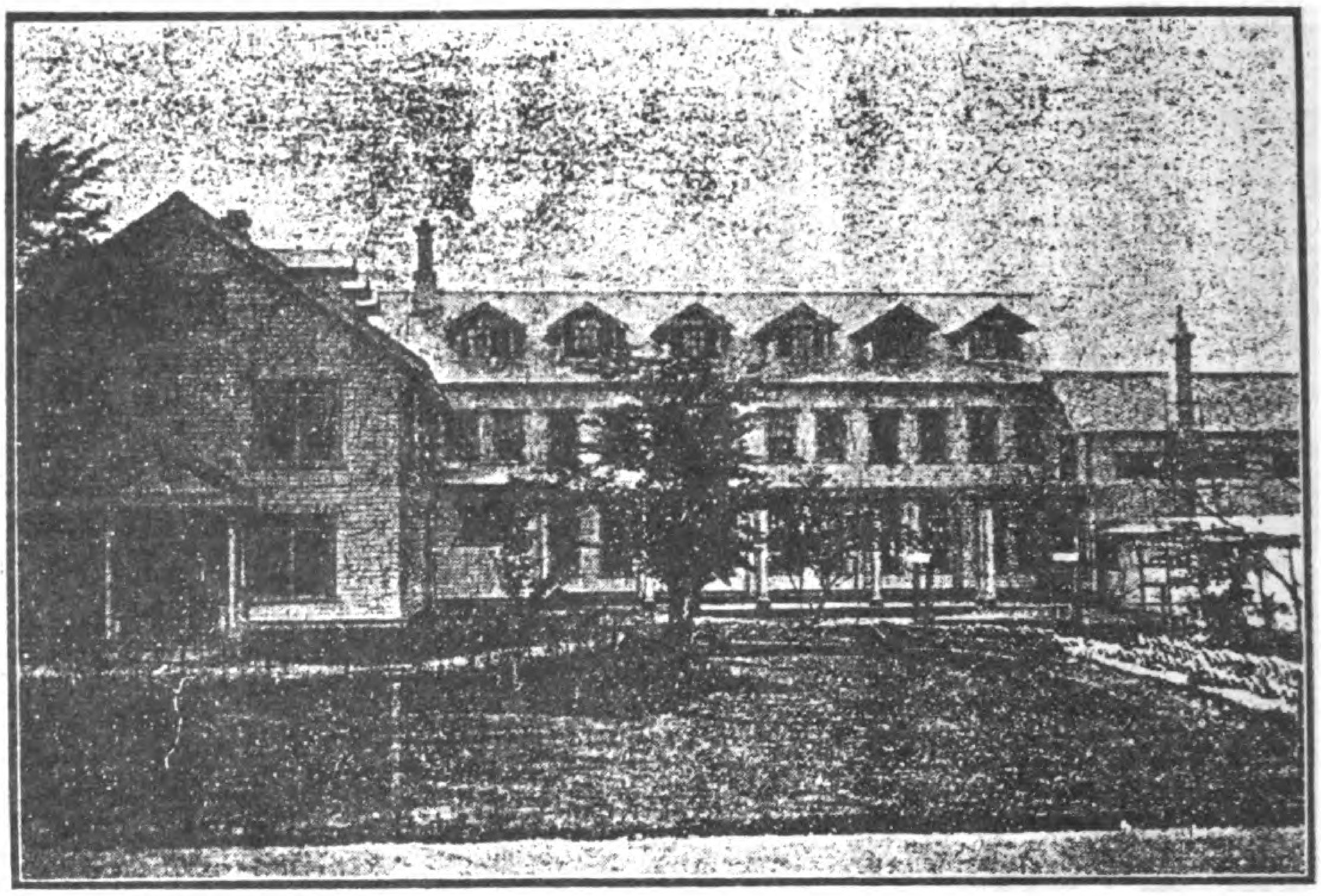
一學年（本科四十名家政專攻科廿五名 英文專攻科二十五名）

英文專攻科豫科生廿名同選科生若干名本科二學年以上若干名を募集す

出願四月七日迄學則及志願者心得郵券貳錢を要す

仙臺市　文部大臣指定

私立宮城女學校



札幌區北四條西一丁目

私立北星女學校生徒募集

尋常小學卒業以上の者は入學を許す

三月末日迄に申出づ可し

私立聖經女學校生徒募集

○横濱山手町貳貳壹番、高燥にして閑靜の地

○生徒は滿十八歳以上にして傳道に從事せんとするもの

○入學を許可せらるゝ者は高等女學校卒業若しくはこれと同等の學力あるもの

○修業年限は普通三箇年とす

○學年は毎年四月八日に始まる

○規則書は郵券貳錢を要す。委細は書面を以て至急問合はされたし

萬年筆修理

萬年筆御使用諸賢の御便宜を計り萬年筆一切の修理を迅速叮嚀に且つ頗廉價を以て御取扱可申候東京市内は御一報次第參上可仕諸地方の御方は現品御送被下候へば御修理の上直に御返送可申上候

修理料金表は御一報次第御送呈可仕候

東京市本郷區駒込坂下町二一九

パンリー萬年筆 製造販賣元 合資會社 エス、エス商會

電話下谷六四九九番

パンリー萬年筆

十四金ペン付。インキ止安全裝置。

クリップ付。

貸用向逸品御用命願上候。若し現品御覧の上御意に充たざる節は直ちに御返戻相成度然る上は代金早速御返却可申候

◎本校の目的は基督者的性格を有して常識に富み質實にして家庭を齊ふるに足る婦人を養成するを目的とす

◎本校の教科は五年程高女校と同一なるが上に聖書及英語教授に特色あり英人四名日本人十三名懇に教授す

◎本校の特典として卒業生は高女校卒業生と同等以上の學力ある者と文部省より指定せられ同様の資格あり

◎英語科は普通科五年高等科二年にして卒業の上は會話通信及飜譯等を自在になすの學力を有するにいたる

◎尋常小學卒業生は無試驗にて本科一學年に高等小學一學年修業以上の者は試驗の上相當學年に入學を許す

◎寄宿舍には校長舍監の外四名の女教師ありて主母となり家庭と同様の生活をなし嚴密に懇切に監督指導す

◎學費は授業料本科月壹圓五拾錢英語科月壹圓貮拾五錢の割入學料各壹圓寄宿舍食費五圓五拾錢舍費五拾

◎規則書入用者は郵券貳錢を添へて申し込むべし

大阪市西區川口町十二番地（電車停留場前）

文部省指定

私立プール女學校

●胸の裝飾

●半襟は婦人胸部の主要なる裝飾として其權威は服裝の全體を支配す
（あしき半襟はよき衣裳の價値を無にす）

●半襟は婦人容貌の美を增損す
（汚れたる半襟は人の品位を卑うす）

●半襟は廉價にてもウツリのよきを可とす
（ドノ半襟を購はむ？ は……ドノ化裝品を買はむ？ と同一問題なり）

●廉價にして瀟洒なる半襟華麗なる半襟質實なる半襟、高尚優雅なる半襟は申すに及ばず、嶄新奇拔なる半襟は二京商店にあり

東京市神田區一ツ橋通町十六番地

（京）二京商店 代表者

東京基督教女子青年會員 石井滋世

弊校新築全部落成致候該地は東京を距る僅に七里汽車電車の便ありて都會の情勢に通ずべく去りとて都會の裡にあらず田園四周して自然に質素の風に富み誘惑の虞なし。子女を教育する最好適の場所に候。部門は普通專門の兩部ありて專門部は更に英文、技藝の兩科に分れ、高等女學卒業生が更に進んで入學すべき部門に候。來る四月十三日より新學年開始致候此際入學志望の方は至急申込あらんことを

授業料

〇英　文、技　藝　各毎月金貳圓
〇ピ　ア　ノ　毎月金貳圓
〇オ　ー　ガ　ン　毎月金壹圓

寄宿料は毎月食料五圓舍費壹圓を要す、其他詳細を知らんと欲する方は御通知次第規則書を送附致候

大正四年二月

横濱市神奈川一本松

捜眞女學校

電話二一七六番

日本基督教女子青年會支部及寄宿舍其他位置

東京基督教女子青年會	東京市麴町區三番町四一
廣島女學校青年會	廣島市上流川町
同志社女學校青年會	京都市上京區今出川通
プール女學校青年會	大阪市西區川口町一二
ウヰルミナ女學校青年會	大阪市東區玉造
札幌女子青年會	札幌區北四條北星女學校内
宮城女學校青年會	仙臺市東三番町
クリスチアン女學校青年會	宇都宮市二條町七二
フエリス女學校青年會	横濱市山手町一七八
共立女學校青年會	横濱市山手町二一二
女子英學塾青年會	東京市麴町區五番町一六
女子學院青年會	東京市麴町區上二番町三三
青山女學院青年會	東京市青山南町七ノ一
女子傳道學校青年會	東京市小石川區指ケ谷町八四
神戶女學院青年會	神戶市山本通四丁目
金城女學校青年會	名古屋市東區白壁町四丁目
盛岡女子青年會	盛岡市內丸タピング方
德島女子青年會	德島市富田浦仲町ミスリツン方
横濱女子青年會	横濱市本町五一
捜眞女學校青年會	神奈川一本松
第一寄宿舍	東京市牛込區納戶町四五
第二寄宿舍	東京市小石川區水道町(安藤坂)
幼稚園	東京市小石川區金富町五二
旅行者の友事務所	東京市本郷湯島

會説

希望の光明

河井道子

文部省が學年を春期に指定されたには様々の理由もありましようが、單に所謂審美的な意義から申ますと、是機以上の好時節を學生の卒業期、新入學期として與へる事は不可能であると存じます。一陽來復、萬物方に榮えんとする時であり、天地に希望の光明が漲つて居る機であります。此時にあたりて多年の業成り家に錦を着て歸らんとする者、是より社會に奮闘せんとする者、又更に高等の學府に入りて智識を磨かんとする者は、假令幾多の困難ありとするも將來の希望の精神が凡を壓伏せしむる程の活氣があります。讀者中にもかゝる様々の樂しき經驗をして居らるゝ方が數多あることで御座いましよう。

然し又一方に於ては就職に付ての心配、去就の憂慮、選擇に對しての疑惑、將來の不安など又友人の幸福を羨望視したり或は目算悉く齟齬して人なき處に袖を濡す方もあると思ひます。それで如斯立場にある時はパウロが飜然悔悟して『主よ我に何をなさしめ給ふや』と神に祈り求めた様になすならば、神は必らずパウロに答へ給ひし如く『汝起て立よ、我汝を立て役者とせん』との御聲に導かるゝことであ

ります。處が世には是こそ神の聲、神の御旨であると知りつゝも、パウロの樣に『是故に我この天の現示に背かずして』と柔順に且又大膽に困難なる路に進むことを爲さない不柔順な卑怯者が多いので希望が消滅する次第なのであります。最早行手は杜絶して失望の淵に沈まん斗の間際にでもパウロの祈を以てせば、彼方の巖影、此方の谷間にも案外な新活路が開かるゝは必然でありますから、困難に遭遇するも、神を信仰する者は、個人と謂はず、社會、國家と謂はず決して落膽などの不吉に屈撓せず山をも移す信仰と希望とを以て前進せねばなりません。英國の名高き一畫伯の傑作と稱せらるゝ油繪は一女子が白布を以て兩眼を覆ひ暗夜に地球の絶頂に坐臥して破れし緒琴を抱き首を項垂れし可憐の風姿であります。一見してこは絶望を書きしものと思はれますが豈圖らんや『希望』と題してあるので御座います。驚き熟視しますと、破れし樂器には尚一線の琴糸が殘りありて、彼女は全心全力を注いで之を奏りつゝ其幽かな音を聽くのであり、又暗夜ながら天涯渺々たる彼方に輝く星ありて其光にて此一線を射てゐる意味深長なるものであります。多分これは『詮方盡れども望を失はず』との聖句を繪に表はしたものと點頭かれます。

山室軍平氏の言葉中に左の意味の教訓があります『抑も基督には方角が四方にあらで五方なり、即ち東西南北と天是なり、然れば困難迫り來りて四方に逃れ路なきが如き場合には天の一方を眺むるを忘るゝ勿れ、これぞ汝の活路なれ』と、先の名畫の寓意も此點でありましよう。天のある限り神の在ます限りは、詮方盡る如き思ひをしても決して絶望せずに進むが吾人の任務でありましよう。假令ば今日の歐洲戰爭を思ひますと世界の文明は退歩し、人道なるものは愈々下降するに非ずやと疑はれるのであります。又基督教反對者は此を非難の良き機と考へて、基督教國だのに此醜態はと冷笑いたします。然れども一躰世界に眞個の基督教國なるものは未だ有りま

せん。勿論キリストの精神の充滿して居る處なら決して戰爭など起り得るものでなきは確であります。併し基督敎國だのに戰爭をするとの批評は基督敎國なら平和で戰亂などあるべきものでなしとの事を公認めた論證であります、殆ど信者だのにあの不品行といへば、信者は品行方正なる者であるべきを期待した言葉であると同樣であります。

次に歐洲文明國が修羅の巷となつたとても絕望するに及びません、此慘酷な殺戮の裏には又氣高き犧牲獻身の精神や、狹き國家主義を捨てゝ廣大なる人道を基礎とした博愛の働が公私に行はれつゝあるは大なる快事ではありませんか。琴糸悉皆斷絕されしにてはなく殘る數條が美音を出して人心を慰籍奬勵してゐます。手近き例の一二を擧げますと、英國倫敦市にある萬國基督敎女子青年會本部に於ては、開戰以來常に同市にある獨、墺婦女子を救助して職業を授け衣食住に苦むことなきを努めて居ります。又同會會長トリツトム夫人は最愛の息子を戰地にて死なしめし十日後にクリスマスが來りましたが、此祝日に多くの獨墺婦女子を招待して御馳走されしは如何なる美談でありましよう、基督の精神なき處にかゝる事が出來ましようか、基督敎は全く死んで仕舞ひましたか、今一の實例を述べますと、獨領亞非利加に於ける獨逸の宣敎師達は開戰後本國より何の給助なきを以て非常に困難をしました、處が英國の外國傳道會社は此非戰爭員に同情を寄せ從然通りの必要なる金員物品を彼等に送りて、以前に變ることなく今日も事業を繼續せしめつゝあるのであり、汝の仇もし飢なばこれに食はせ、渴かば之に飲せよ、汝の敵を愛せよとの敎訓を實行しつゝある事は、人間が益々神に似て參り來ることを證據立て居ると信じます。只に是のみならず仰げば暗夜にも北斗辰は變らで幽ながらも輝くあり、やがて東天に旭日の昇るが如く神の御榮光の全地に普く照りかゞやくを語つて居ります。

實に人を活し國を活かすものは神を中心としたる

信仰と希望と愛の外に何物もないと信じます。此三の武器を持つ限りは何としても失望や卑怯や、陰欝や非道慘酷な所爲は跡を絕つべきものであります。

何卒希望光明を認め、益々其光明の赫々たらんことを讀者諸姉に御願ひいたします。

一言附加して申上度ことは既に女子青年會の支部を置かれし女學校を今度御卒業なさる姉妹方には卒業後學校の青年會と關係を斷たるゝ場合には是非とも本部の會友となられて此事業を御援助あらんことを願ふので御座います。本會にも樣々な困難が澤山にありますが將來に大なる望を持つて居りますから諸姉の助力を得て必らず進步發達するを信じて疑はないのであります。

『中途で失敗せる爲め絕望し又困難に遭て落膽するは最も恐るべき弊害である、凡そ人の氣力を衰弱せしむることの最も甚しきものは絕望落膽である。これ程心身を損傷するものはない。故に事業に失敗し困難に逢ひたるときは更に幾倍の氣力を出して勇往邁進するの覺悟常に必要なり。但し斯る場合に於ては先づ第一に神に祈禱し神の助力を求むべし熱心に祈禱するときは精神自然に落付きて起居動止も言語應對も平穩になり感情に馳せて輕逸の言行をなすことなかるべく從て失敗の虞なく困難も減少せん』。

◎

人若し初めに、偉人を師として尊敬なさば、遂には之を友として、愛するに至るべし。

◎

吾人の生涯に於て、望ましきものは悉く、犧牲に出りて買はれざる可らず、然して、それが之を拂ふ價値ありや否やを考ふるは吾人にあるなり。

（松榮譯）

アテンス人と基督教の神

（使徒行傳十七章十六―三十四）

植村正久

ポーロが希臘の都アテンスに逗留して居る時に、彼が都の模様を見て色々感ずる處があつた。取分け傳道に熱心なるポーロにとつては希臘人が眞の神を知らぬ事が最も其心を痛めたことであつた。

この國は、文物の盛な所、智識が非常に進步して居る所である。或詩人が『凡ての智識に滿ちて眞の神を知らぬ』と云つた、それ程に文藝學問には長じて居たが神の事は知らずに過して居た、甚しい不具者と云はねばならぬ。哲學者などが現れてむづかしい事を研究したが、此處に書いてある當時最も勢力を持つて居る學者は、一方に於てはストイックの學者、又エピキユラスの仲間で、これが相對峙して社會の指導者であり又青年等を教育することをして居つたのであつた。

ストイック派の人々は根が唯物論又反神說（神を人格的に認め得ない人、或は佛教の人の如く支那の儒教の人の如く、隨つてフエタリストである）であるから、人間の自由を解し得ない。唯、物事は諦めるより外に仕方がないと云ふ、この連中にはなかなか面白い所もある。即ち人間は外物に支配されてはならぬ、それに打ち勝つ萬物の靈長たる人類を以て物質界の物事に縛られるのは恥しい、故に物事に餘り頓着せずして超然として人格の位を維持することが必要であると强く云つた。この連中には豪い人も

出た、然し斯の如き主義を以つて養はれた人達の主なる氣風は勝つと云ふことになつて、基督敎の敎へる謙遜など云ふことはわからぬ、よし言葉はあつても意味が違ふ。唯物論反神說など獨立の主義を唱へて、一方の說はあつてもそれが傲慢と云ふことになる。

エピキユラス派の人々はストイック派の人々とは反對で偶然と云ふことを說く。世の中は奇遇や僥倖で、必ずしも一定の方針で進むのではないと考へた、其人達も其根本は唯物論者であつた。世の中を成丈け呑氣に暮す、餘り物事に煩はされないで、文人茶人の如く、樂にして自己の平和安寧を敎へる、そこはストイック派の樣に自分の慾を亡ぼすことはしないのである、要は程よくして修養する。この考は確かに當代の人々にも氣に入ることである。その中で上品な人は文人肌で、あつさりと世の中を送る淸らかな高尙な竹林の七賢人の如く、斯かる氣風をもつて居る。しかしこれは善く云つた方で、惡く云ふと自分が主であるから、亂暴な自然主義にもなる。先づ青年などは高尙な風になるよりも亂暴な生活に陷る。斯る人々が人を敎へて居つたのである。

如何に學者は高尙なことを云つても、中々迷信があつた。今日でも基督敎に就いて色々理窟ばるが、理窟もないことを云つて、呪ひ、加持、祈禱など愚にもつかぬことに奔走して居る人々が、もし基督敎に就いて理窟張る樣に斯る事共について理窟張るならば直ちに化の皮があらはれる。アテンス人は都大路に色々善きに、惡きに像を建てた、最も其中には美術を凝らしたものもあつたが、實にアテンス人の迷信は甚だしい。一方には學問の硏究に理窟張つて居るが、眞の神は認める事が出來なかつた。如何にしても人間の靈的平和信仰を與へることが出來なかつた。學問の硏究の盛なるにも關らず、迷信が蔓延つて居ると云ふ有樣の所へ、ポーロが來て市中を步いて見ると、此處にも彼處にも人民が迷信に縛られて居る證據ばかりだ。彼が市中を步いて見物中、とあ

る祭壇の文字を讀んだ。彼は是をつまらぬ事と笑つては濟まさなかつた。唯大摑にして眞に困つたものだとは云はなかつた。其處に彼の同情の深い所があるので、つまらぬ事の中にも少しは取得がある。少しでも取得があれば其所を摑へてよきに進ませたいと思ふた。これが眞の傳導者である。この迷信に對しては實に同情に堪へぬ次第であるが、拜むと云ふ働きに尊敬すべき所がある。それで彼は市中を歩く時に何時も尊敬心を失はなかつたから、それを見て大に心を痛めた次第であつた。吾々基督信者に於て今日批難の所は何處であるかと問はれるならば、第一今日の信者は間違つた信仰に對して心を痛める事が少ない、餘りに寛大呑氣で何を信仰しても罪ではない。彼も一理之も一理だと云つて、自分の愛する者が間違つた信仰に溺れて居つても顧ない。さう云ふ人が隨分あるが、ポーロは非常に心を痛めた。一體信仰は何でもよいと云ふ譯ではない。

如何にイエスはこの間違つた信仰をあはれにお思ひになつたか。間違つた宗教は飼ふ者なき羊を見る如くである。自分一人基督を愛し、神を愛して喜んで居るその惠を持つた目で見ると、迷へる羊の如き有樣である。自分の夫、妻、親、兄弟の事を人から誤解されると、非常につらく思ふが、エピキユラス派の人の如く、無暗に偶像に仕へて居るのを見ると、實に眞の誤解をして居るのだがそれほどにつらく思はない。成程、宗教には幼稚なものと發達したものとがある、唯幼いものと成長したものとの違ひなら大抵は信仰を咎めるにも及ぶまいと思ふかも知れぬが、併し幼い子供が、何か譯のわからぬ事を云つて遊んで居る、それを見ると、可愛らしいが、體の大きな年をとつた人が、くだらぬ事を云つて居つたらそれは不憫だ、恥かしい、困つたものだと親は泣くであらう。一體世間の名士が、くだらぬ迷信をもつて居るが、これは白痴と見てよからうか、體の大きな赤兒と見てよからうか。斯くあつては如何程多くの惠を受けずに居るか、又それよりする多くの禍、

又多くの害毒があるにちがひない。而も根本的であるから恐しい。それは一方から申すと同情に堪へぬが、一方から云ふと殘念至極、憤り、不平に堪へない。丁度忠義な士が屢々慨然として平氣で居られぬ樣に感ずる。さう云ふ心持が有る可きだ。ポーロも斯樣であつた。併し知らざる神を拜んで居るこの祭壇には、どれ程の講中があつたか知らぬが、それが印ばかりの事であつても、ポーロの胸には飛立つ程であつた。凡て當時の哲學に安心して居ることが出來ず、祭つたり拜んだりして居る物の外に、まだ發見し得ない何物かがあるかも知れない。自分の生活に滿足出來ず何が物足らぬ所から建てたこの祭壇、面白いことである。丁度手を施す術のない病人に見なほす病狀が現はれた樣なものである。少しでも手懸があれば、捕へて放さぬ。常に斯う考へなくてはならぬ。

　現在の社會に於てもどうかポーロの樣にしたい。決して基督教は厭世的のものでない。救はれると云ふ信仰の中に樂天的のものがある。決して失望すべきでない。望がある。ポーロもこの心持であつた。此の時神は些人民の爲に盡す機會を與へ給ふた、アテンス人がポーロの話を噂に聞いてひやかし半分で好奇心に驅られて來た、此處でポーロがアテンス人に向つて道を解く機會が與へられて、アレオ山に立つてアテンス人に說教をする樣になつたのである。

（文責在記者）

よろづのくにびと
わが主にむかひて
こゑをたからかに
よろこびうたへよ
主こそかみにませ
主はわがかひぬし
われらはそのたみ
みまきのひつじぞ

故ダッヂ女史

河口正子

米國合衆國基督教女子青年會々長ダッヂ女史は昨年十二月二十七日永眠せられました。最近の米國雜誌に同女史の事ども掲載してありましたから、茲に其の大要を紹介して同女史を偲びたいと存じます。

ダッヂ女史は絶對的に誠實で、驕り、媚び諂ふと云ふ様な事はその影だになく、二十五年前既に基督教主義の下に社會貢獻者の最も立派な模範でありました。而して他人を眞に助くるは單に力のみに據らず、又神をのぞきては他に善なるものなく、美德や人格は決して一方面の人々の專有物ではないと言ふ事など、或は人生の眞の富裕は己が利益を他と分配し、勞働の神聖なる事を了解するによりて始めて得らるゝものである事を女史自ら社會に明らかにせられたのであります。

又女史は己が親愛されたキリストと同様に人間の眞價を自ら識て居られしゆゑ、他より學ぶ必要がありませんでした。而して他人の心裡にひそむ聖いものを吟味し表に實現されない渇望を洞察して同情されました、これが女史の經營になつた勞働婦人クラブの成功した秘訣であり、又同じく後年女子青年會に於ての原動力で御座いました。去年の冬某大家に使つてもらいに來た一人の可哀想な寡婦が其の家の主婦の座敷を掃除して居りました時、ミス、グース、エチ、タッジと宛名された手紙を見て急ぎ主婦の許にゆき、貴女もミス、ダッヂを御存じですかとたづね出したので一時間餘り主僕が深き尊敬と愛の普通の立場に於て、女史の事をいろ〳〵語つたとの事であります。

女史の事務的才能は實に稀有のものでありました、けれども女史は何物をも決して單に冷やかな事務的のものにせられた事がなく、如何なる書付でも通信でも其の内に溫かき個人的接觸と眞の友情が發露して居りました、封筒の上の女史の手跡を見る時

には、この手紙によりいかなる六ヶ敷仕事如何なる難題をもち來すものにもせよ、女史は其手紙に添へて能力を送り來されし心地して彼が一言頼むと云はるゝ時は不可能が可能に變る樣な感が常にしたと人々は申します。女史は神に對し無限の信仰を持つて居られました、從て他人に對しても無限の信實を有して居られました、小さい目的や、瑣々たる成功は女史と共に存在する事は出來ません、女史の指導の下に働く者は誰でも自分の仕事に對する觀念及其方法が日々進歩して行くのを感じたそうであります。女史の生活は常に成進的でありましたから女史の仕事も又常に發展して居つたのであります、それ故所謂櫂を休めて手を空しくしたり、或は些細な仕事を可成り位いにして置いて其れで滿足したりする事は出來ない性質でありました。女史は事を計畫するに當り最も立派な最も大なる事より他には何も考へられませんでした。

　若し女子靑年會の委員の誰かが事故のため五六度も委員會に缺席するならば、其の人が出席した時には呼吸もつかずに聞いて居なければならない程數月間に事業の範圍が擴張されて居るが常であります。而かもなほ、この婦人は其の智識、才能、人格の力等に於ては非常に心から謙遜でありました。女史は物事を批評する事は稀で御座いました、そしてもし何か缺點ある仕事やその他の事につきて、批評しなければならない時は、包みかくしなくとも、親切に致しました、そして極度まで人に善くすると云ふが目的でありました。

　聖書に於ける女史の智識は恰も海綿が水をもつて充されて、一部は濕り他の部は乾いて居ると云ふ事がなく十分に浸み通つて居る樣に、女史は聖書全體に精通されて居りました。女史にとりては聖書研究は決して抽象的の理論ではありませんでして、「知るは從ふ」の道と聖書の敎を實行する事に努力されました、又女史は實行すべき神の命令をよく記憶して居られて、何事をなすにも延期して緩慢に流れる如

き事は斷じてありません、そして前途遼遠と思ふ樣な計畫は數年も前より出來上りて居りました、それがため、及女史が絶對的に規律を守られしに據りて多くの分散せる事業を少しも、混雜する事なく而かも大急ぎと輕卒に取扱はずに、遂行する事が出來たのであります。然れば瑣細な事にさわぎ立つてこれ見よがしの騷擾な活動振りの人々に出逢はれし時、女史の目には一種の愛嬌ある怪訝な表情がありますが然し女史が他人を嘲笑したなどを目撃した人はないのであります、女史は諷刺家ではありませんそれでもし己が意に面白ろからぬ事のある場合は、それを決して口に出しませんのが彼の女の仕方でありました。

女史の友人の生活、其の事業、其の働きなどに於て如何なる小さい事も女史の興味を引いたのであります、又女史は多くの責任を負はれて居らるゝに拘らずなほ同情に富める婦人のなすべき親切は大小となく仕忘れになつた事は御座いません。女史よりの花はいつも悲しみの時も喜びの時も、第一着に友人の許に參り女史の手紙は心配事のある時第一番に參るのでありました。例へ女史は永年激烈なるリユーマチスにかゝつて居りましたが、これに少しも頓着する事がなく、女史の永眠せらるゝ數週間前、女史は怪我されし親族の方を見舞ひに、五階まで上られ又四週間に病氣であつた一友人と見舞ふためにニユーゼーシーまで參られました。數年間女史は手の痙攣にて非常に惱まされましたが、尚自分で數千本の手紙をかき、又女史の日每の課程の一部分であつた事務上の手紙數百本は一々自身で署名する事を非常に好んで居られました。而して返事の場合においてはそれが二十四時間を經るのは稀でありました。

他人のために色々配慮されし一例を擧げると集會の最中若し誰か疲れて居る樣に見へると、女史は直ちに自分の馬車で送り返へされたり、又自分が集會にある間は己が自働車を無駄に待たしめずして、新鮮な空氣を吸はせるためとて病人を乘せたり、又外

遊びのために子供達をのせてやらるゝ事は普通でありました、女史のこの種類の事はいち〳〵枚擧にいとまなく、その二三を見ても女史がいかに神の命令を記憶して、神と人とを愛して奉仕されしかを窺ふ事が出來たのであります。

仙臺行

（第二回東北基督教女子青年會修養會）

河井道子

一月の某日突然宮城女學校から二月五日より三日間の修養會に應援せよとの手紙が飛んで參りました。三年以前の冬に第一回の修養會が同校に開催されしときには捜眞女學校の山田千代子先生と、救世軍の山室軍平氏と御一所でしたが此回は兩先生とも御援助下さる事が六ケ敷かつたが幸にも女子學院の三谷民子先生と、傳道義會の外村義郎氏とが御出張下さる事になりました。私は四日の夜行で東京を出立し翌朝七時半に着仙するや學校より數名の出迎ひ下されし姉妹の笑顔に接してから直に學校へ車を飛ばしました。準備されし私の部屋には二個の大火鉢に山なす炭火で流石は暖き歡迎かなと嬉しく思ひました。宮城女學校は最初より女子青年會に同情深く從ひて關係も親密な處より毎年夏期修養會大津で一週間寢食を共にせし舊友の多くある故か、少しも遠慮する心も出でず、食卓に置かれし竹中舍監の心入の御馳走は、食事毎に皿を空にする有樣で中々盛なものでありました。

五日は八時半より開會式あり、引續きて聖書の組あり、一は外村氏一は私が擔任することでした、外村氏は恰度是に間に合ふ樣に御出でになり、一同安堵した樣子が見えて居りました。續いて講演會で私は愚説を吐き午後三時から仙臺市聖公會の稻垣先生の「誘惑」てふ材料の豐富な有益なる講演があり、夜は外村氏の十字架の意義續いて至極靈的な信仰上の

教訓は聽衆に深き印象を與へました。

六日の朝三谷姉が御來着で元氣づき、又前日の通り最初に祈會、次は聖書、次は講演にて午前を卒へ午後は三時より集會、夜は三谷姉の『無くてならぬこと』てふ題の下に婦女子に取りては誠に面白く且意味深長な講演は非常に集會の心を引付けました。

七日は日曜日とて私は午前に病の友人を訪ひ、會友岩崎智子夫人の御宅で皆樣と御一所に晝食を頂戴して色々と信仰上の物語を心置きなく物談り、夫人の信仰生活如何にも高調なるに感じ心中御一家の祝福を祈りつゝ、横澤つぎ子姉に導かれて同姉の隣家にある日曜學校を訪問に出かけました。此處は市外にて人家稀にして雪溶の時節には次子樣が毎日學校に通勤さるには嘸かし困難ならむと滿腔の同情をいだきつゝ日曜學校のある家につきました、集りし小供等は略三十名計にして勿論田舍の農家の子女なれば其服裝何の見るべきなくも彼等の顏色美しく行儀よきには感心いたしました、讃美歌もなか〳〵上手にて男の先生が『此以前には何の御話を聽たのか』と尋ねますと、大きな手帳を出すもの小さき紙片を持出すものの犬とか猫とかの返事が面白く思はれました。其から私の御話の番であるからエス樣が病氣の者を如何にして癒しなされしたかの話をしましたら、又先生が『今御話をして下されし先生の名をかくのだ』との命令を下されしもので、手帳や、紙片に、或は大く或は小さく私の名が永久に記入されたのであります。『今の御話は、エスサマガビヨウキヲ、ナオサレタ、四人デツレテキタとかくのだ』と第二の號令で、疊の上に子供の頭が幾個も鉛筆の動くと共に動いてゐました。次子樣が最後に一言子供にきかせられて祈と集金とで閉會でしたが金は貯蓄させてクリスマス其他の費用にあつるとか、田舍の日曜學校で献金を奨勵するは非常に良き習慣であると感じ、今度歸省しなば早速自分も村の子供等にこれをさせやうと決心しました。閉會後横澤姉の御宅に參りますと御兩親と發育の立派な弟君連が三人と可愛

らしい小な妹子と頑是なき四郎坊ちやんとての大歡迎、御菓子やら、大好物の落花生で卓上は山の如き有様でした、是等が半分平らげられて後にオルガンの周圍に子供等一同が集りて各自の大好な讃美歌を大聲あげての大合唱をいたしました、實に和氣靄然として家庭の眞意を充分に發揮されてゐました。

夕方に其處を辭して市中一友人を訪ひ宮城女學校に歸りましたらば恰度三谷先生の御講話最中でありました、午後には外村氏の説教がありましたが私も市外に居た爲にこれには缺席いたしました。三谷姉の後に閉會式があり同校の先生方の音樂やら、女子青年會員方の挨拶があり九時過ぎに散會いたしました。三日間に志道者として記名せし者の數が四十六名で其中五は男子でありました。

扨て修養會の一般を申ますと、例の通り準備は周到で年若き姉妹等方が實に健氣に司會から、客の接待まで皆先生方の手を煩はさでなされし事は敬服の外は御座いません、勿論蔭よりして多大の援助が職員方からありましたのでしようが實際開期中は全く生徒方で萬事の責任を負はれたのは確であります。又會員一致協力されしことと祈禱の精神の充滿してゐた點等が好結果を來たした事と信仰いたします。かく宮城女學校の青年會は活氣に滿ち傳道の精神に富んで、市のために活動されます、他の支部も時機の來る時には是非とも中心となりて其地の傳道に充分貢献されて戴き度きものであります。女子青年會には種々の事業が御座いますが、若し傳道の精神が缺乏しますと生命のなきものであります、何卒御互に事業に走りて神を第二におく事なき樣に日々心掛けねばならぬと存じます。

仙臺の歸途福島縣川俣に立寄り田丸よね子姉を訪問いたしました、同姉は以前横濱にありて同市女子青年會の會員であります、都合により川俣に移轉さるゝや此地が羽二重の機織場にして戸數僅に一千戸位なるに人口は八千人以上で大概の婦女は工女であるを見て横濱の女子青年會に倣ひて川俣基督敎女子

青年會休養所と申すものを設立して工女のために働いてゐられます、抑も當地は松川驛を去る三里なる山間の僻地にして如何にしてかゝる工業の起りたるやを尋ねみましたが、誰も詳細に知つてゐるものはありません、只昔よりの言傳に據ると某女官が此山地に落來て機を女に敎へたとで小手姫神社なるが土地にあるとかであります、併し今日では電氣機で、手で織ることが無くなつてからは小手姫神社に參詣者がなくなつたそうであります。日本全國の工場に於ける工女の悲慘な事は人々の常に口にする處でありますが、改革されざる弊害の追々增長するには非ざるかと疑はしむるのであります。心あるものは是を憂いて是非とも公私共に改善を講じたい所念であります、女子靑年會は歐米に於て女工問題と奮闘して大に輿論を起して婦女子の保護に努力し又今も努力しつゝあるのであります、本邦に於ても早くかゝる方面に本會が有力なる働のなし得る樣に進歩させ度存じます。川俣にては女工は朝五時より夜十時迄の働きにて賃金は如何と云へば餘程よき處にて月に十一圓位で其中から食費を差引き稀に衣服の一枚も新調しなば一文なしなりと申て居るのを聽きました。無智なる女共を下等動物より下等に取扱ひて彼等の墮落しない樣にと申したとて其は無理な註文であります。幸にも川俣には信者の工場主人もありて是等を眞面目に思慮されつゝある事ゆゑ追々改善さるゝことでしよう。

川俣では二回の集會を開き土地には珍しき盛會なりしよし、尤も嬉しく思ひし事は僅々十人に充たざる信者が相互に助け此休養所には未だ器具も揃ひ居らざるを信者等が一品二品とて寄附さるゝ由であるとの事をきいた事であります、恰度私の出立間際に菅野氏と申さる靑年が大きな柱時計をかゝへて休養所に來られこれを河井氏の來川の記念として寄附するとの發表がありし時は我知らず拍手喝采いたしました、九日の午後一時頃に會員方の御見送りを受けて川俣を出で東北の冬枯景色を車上より眺めつゝ雨

雲を懸念しながら驛にかへり其夜は郡山にて外村氏と共に傳道集會に臨み吉田牧師一家の温き送迎をうけ喜びに充みて十日の朝七時に歸京いたしました。

目と耳との教育

米國　加藤たか子

先達婦人會で英國の詩人が來て詩に對する彼の意見や自作のものを朗讀したり致しました、私も連れて戴きましたが私の樣なグリンな者は私一人でした、詩はむづかしくて私には皆さんの面白い處は解されませんで殘念に存じましたが圖書室から其人の作の本を借りて來て讀む事にしました、唯嬉しいのは現代の詩人に接し其正直な誠實な處には全くチヤームされました。又私共は何を見に行きましたか御想像がつきますか、自動車展覽會です、私には一向區別がつきません色々と新しい發明が出來て居りましたのを說明して貰ひ全く面白く存じました、一番氣に入つたのを日本の青年會に御土産にしたいからといつたら皆が大笑ひなさいました、私は是非買ふてあげる積りでしたが價を見てびつくりいつの事かと少々氣ぬけが致しました、又金曜日午前に三種の學校參觀！午前十時頃から第一に盲啞學校に、勿論皆貧民の爲です、最初は六歲位の子供が五人居る組！音の御稽古でしたが實によくわかりますのには驚きました、一人敏しい子があつて自分に問はれた事でなくともどん／＼答へて可愛らしい樣子をして居つたのがありました、第二の組は算術會話、第三は文法でした、まあ先生方は大きな聲で忍耐と愛を以て敎へられる處を見ても實に御骨の折れる御苦勞樣な事と存じました、次は屋外の敎授に參りましたら十七八名程居りまして皆毛織の大きな帽子に靴を普通の着物の上に着て、特別に窓をあけはなしが自由に出來る高い場所の運動場で遊で居りました、皆病身の子供でしたが寒くない樣にして遊び出ましたが十二時になりましたので皆やめて其毛織の物をぬぎ

手を洗ふて食堂に參ゐりました、少し大きい男の子供が御膳の御手傳ひをし、萬事そろひました時に、又一人の子供の祈があつてから皆あたゝかい御馳走がはじまりました、滋養なる且結構なものに見えました、食後は其室外で晝寢をするとかですが、其他三度の食事も皆此學校でいたし、且一週一度醫師が來て診察し、且子供の家にも時々訪問看護婦を送りなどいたし注意を致しますとか、斯樣にして弱い貧民の子供を勉强させますとは有がたい事と存じました、一人の母親らしく見える敎師と信賴の出來る女中が居りました、十二時五分過でしたが、此度は低腦兒の學校に參りました、實に憐でした、けれど此學校が出來たので可哀想な子供が相樂しまれますのですからほんとによい事と存じました、夜學校を見に參りました、其處では土曜日の晩は特に五錢の入場料で、友人間の舞踏會を開きますので、私共三人で又參觀に參りました、一人の巡査風の大きな男子主任者が、私が斯かる事業に注意して居り、且日本から來たとの事で、大變親切に案內して、極く丁寧に色々のものを見せて下さいました、名簿帳やら種々の組織を說明して、ほんとに心からよくして下さいました、其所に來る大勢の者も皆敬服して居りました、禁煙、禁酒で、男子の御つれがなくとも、女同志で自由に舞踏が出來、且時間も十一時半には皆歸宅させ、主任の保證劵等を渡しますとかです、實に不德にならぬ樣に注意し、且同時に自活してゐる男女に樂をあたへますので、私はよく注意して參りました、ほんたうに靑年男女に健全なる娯樂を與へんとて、種々なる計畫があつて、實に米國の靑年男女はありがたがらなければならぬと存じました。

隨感

在京　一會員

◉我は如何なる世界に住むべきか我は我が中に建設せられし神の世界の中に住む。我が靈界におけるこ

の世界を悲しみなく恐れなく怨みなくつぶやきなく怒なく神と獨子キリストと御聖靈とは常にその中にゐたまふて實に樂しき世界なり我等の肉體の假に生存するこの所謂世界は戰場なり激浪も騷ぐべく暴風もすさむべし。人の子はたゞ空しき譽空しき數をおひて日をおくる何ぞ果敢きや、然りされどこの實現世界こそ我が靈界にてうけし御敎を行ふ實驗場なり我等はあくまでもこの實現世界における神の勇士とならざるべからず疵をうくることを恐るゝ勿れ彈雨の間に飛び入れ進んで入りて戰へ負傷して神の世界に歸る時父は我を撫でいたはり主クリストの血汐と肉にて癒し給ふ日出づるは神が戰場に出でよとのたふ合圖なり日入るは休戰せよとの號令なり。戰士よ忘るゝ勿れ戰場に出づるまへ神の聖靈の劍を帶し救の冑を戴き愛の帶をしめて父のみ前に出で先づ其のみ力をうくる事を、休戰の合圖あらば寄道なすな、直ちに父のもとに至り一日の戰況を報告せよしかして負ひたる疵を速かに治療せらるべし、今日疵をうけて癒す事なくばいかで明日の戰に加はるを得んや實に我は幸なり我が中にこの美しき靈の世界あり雄々しく戰ひつゞけて益々我は淸められいよ〳〵我は高き人格にすゝまん。

◉我がたましひよ汝一日に一度必ず大空を仰ぐべし星あらばよし月あらば更によし積雲あらば一層よし一點雲なき夜もまたたとひ黑雲におゝはるゝ時もその如何をとはず必ず一度仰ぐべし然らば汝は永遠に神よりはなるゝ事なかるべし否神の大を讃美しその中に生くる我の幸を感謝せざる能はざるべし。

◉この活動的の世の中に徒らに隱遁生活にあこがるゝ人あるは何事ぞ人はすべからく積極的たるべきなり苦痛をいとひて逃るゝに何のほむべき所あらん苦痛の中に飛入りて之に打勝ち艱難の海に漕ぎ出でゝ彼岸に達す、これぞ眞の勇者眞のクリスチャンにあらずやあゝ何とて人は消極的を欲するや沒社會沒人格沒常識を敢へてするや眼をひらけ耳をかたむけよ天地あり日月あり花鳥あり虫聲あり神は日毎、夜毎

に種々奇しき業を以て日々の戰ひに疲るゝ我々勇士をなぐさめんと焦慮したまふ御心を汲まずや知らずや!!

●神は自由を與へ給ふ自繩自縛をやめよ發動的たれ捉らはれたる生活を棄てよ捉はるゝとは何物にか、之皆自ら自らに捉はるゝなり潑溂たる生活勇氣ある生活打てば、はねかへる生活をなさしめよ、我が中には遠く深く根を神におろせる靈魂ありこれこそは何者もこれを我より奪ふ事能はず我は無限に發展し得るものなり我の人格はいづこまで聖化しいづこまで進歩するや實に制限なし人は未だ精神的靈的の發展がこゝまでと限りたる實例を示さず、完全なるキリストを中心として忠實なる人の子はこれにむかつて船をこぎつけんとす而して其完全に到達したるもの未だあらず我は實にこの無限に進む力をたくはへあるなり、大に發展せん、しかはあれど松の樹は種より一瞬にして大木となるものにあらず不完全なる我は一歩一歩これに近かん。

●生何ぞ、死何ぞ、計りもしらぬコスモスの大の中に身をおく我小さしとや云はん、その大とこの小、比ぶべくもあらず。

世は大なる觀覽車なり我等はそが乘客なり車は徐々に廻轉すこの乘客は汲々として利己に走りて互に大ならんと爭そへどやがてはこの車よりおろさるゝなり日々幾人かの人の子は新しき乘客となりてこゝに乘る我等はこれを生れたりとぞ云ふいづこの世界より來れるや知らず。日々幾人かの人はこの車よりおろさる、何物に招かれてなるや知らずまた何處の世界に行くや知らず我等が乘れる觀覽車これを地球とは誰か名づけし、降りし人もまたいづかたの世界に何と云ふ車に乘るらんこれ神の外誰かしらん、曰く天!!これやまた一つの觀覽車か、キリストにたよるものは神を信ずるものはこの天國てふ車にめされてこれに乘るなり、この車こそは實に眞善美の極にして其處に爭なく、ねたみなく恐れなく苦しみなし……只愛あるのみ。宇宙には果して何程の觀覽車あ

るらん我知らざるなり我れは今この地球てふ觀覽車の乘客の一人なりこれにのりてよりこゝに廿二年!!十八年目に始めて我が神を知りぬ而して次に乘るべき車も定まりぬこれを天國と云ふこれぞまだ見ぬ國にしてとこしへに變らぬ美の境なりこの地球にある殘りの年や果して幾年か我知らず、さあれ既に行くべき乘るべき次の車の定まれる上は如何でかこれを憂ふべき。この觀覽車の乘客となりて苟もこゝに生存てふ恩惠をうけゐる以上はこれに對して充分の謝禮をはらはざるべからず神は我に命じて世にも貴き務をつくすべしとのたまひぬ、我今この務にむかひてすゝむ。去るものは日々に疎しとは至言かなこの車一度おりし人の子はやがては全く忘れられてたゞ地球てふ車はその中の出來事を喋々するに忙はし親と云ひ兄弟と云ひ朋友と云ひ知己と云ふまた何かあらんつひには一人づゝこの車降り行くものを!!たゞ神の愛のみ永遠なり。

◉祈りの時!! 私にこれほど嬉しい時がありませうか私はたゞ一人になりさえすればいつもいつも祈る眞に自己を現はすはこれ眞に私の憩ふ場所はこゝですこの時です、全くこの世には科學以上のあるものが存在してゐますこれは事實です。

私は月を見る時に其直徑が何寸だろうとかこれは日光の反射光だとか考へやうと思ひません（勿論それも必要でせう）そこにこの宇宙、大自然の偉大を見ます、青白いその色、……自分の心にあるおくふかい所にある感情をそゝぎ出されるやうで涙が自然にあふれます私はこれを感恩の涙と云ひたいのです。

私は都會に住んでゐて人爲的のものゝ外さがす事が出來ないあきたらないこの心をたゞ滿足させるものは大空ばかりです（それすら家のたてこんだこの住家では充分ではありませんが）もし私が田舍に住んだらどんなでせう、私は小さい、宇宙は大きいしかし我が中にこの大なる宇宙と一致する大なるものがあると思ふと限りなくうれしいのです靜かに瞑目して天の父をよぶ時私は肉體をはなれて靈が遠く〳〵

うかび出でゝ宇宙の存在と一致して我も人もこの世も何物もない所にたゞうつとりとしてゐる事を思ひますもとよりこれは主觀ですがこの時の氣持がうれしいのです。

天上の音樂

木岡莞爾

今鳴らした美妙な音樂が、玉盤を轉がる大珠小珠、文なす幽咽たる細流のやうに、碧空さして昇り行く。そを聞きとれ憧れて居る四人の聖者。天上では一群の天使が之に合奏して居る。此圖は樂聖セチリアを畫いたラフアエルの畫である。

英國の片田舍に住める、恩寵に充ちた或る家に、十二歲になる少女があつた。一度病魔の犯す處となつて、花やかな愛嬌の溢れた頰は次第に陷ち込み血は枯れて哀れ冬野の尾花のやうになつた。しかし精神は肉體と反比例に、ます〳〵鮮になりつゝあつたのである。或る日彼は『美妙な音樂が聞える』と云つた。看護せる者等は訝げに、左右の窓を開けたが何も聞えぬ。彼はやがて『あの隅の方から聞えるあゝ死んだお母さんが見える、あれ兄さんも姉さんも』と云つた。更に心に燃さるゝものあるが如く『クリストが手招きしています』と。信仰に輝ける一語を殘して、遂に神の聖手に移されたのであつた。

明治十七年金森牧師全盛の時代、岡山に組合敎會の會堂が出來上つた。建築費は實に三千餘圓、其當時では中々の重荷であつた。敎會員は必死の覺悟、信仰は何れも潑溂たるものであつた。牧師は假令一錢たりとも借金のある間は、奉堂式を擧げぬとの意氣込であつたのである。彌々奉堂式を行ふ事となつたが、各地から信者が雲のやうに集つて來る、會堂は破れるやうであつた。讃美歌聖書朗讀となつて、會衆は神の威嚴の前に首を垂れた。金森牧師は天來の靈氣に觸れ、嚴に奉堂の祈禱を献げられたが、會衆の心は次第に燃えて一團となり、神の聖座に昇り詰めた。牧師の祈禱は一句は一句より痛切に一語は一語より崇嚴に、肺腑から血を吐くやうに迸て出る。此間承見某は美妙なる音樂が奏せられつゝある事に氣が付いた。彼は窃に首を擡げたが何も其氣はいがない。もとの態度に直れば又も何處となく樂聲が聞える。不思議〳〵と心窃に訝つて、三度迄も同じ事を繰り返したのであつた。彼は散會後二三の友に此事を囁たが、矢張其音樂を耳にしたといふ者もあつたさうである。

噫ラフアエルの畫のやうに、眞天使が奏でた靈界の音樂に違ひない『倏ち衆の天軍あらはれ、天使と共に神を讃美て曰けるは云々』(路加二章十三)『われ許多の人の呼が如き大なる聲の天に在を聞けり』(默示十九章)此等の光景を偲ばざるを得ぬのである。

小説 ひとりぼつち後編

河井道子譯

第六章（つゞき）

ラセル氏の御迎をうけたマレとベテの姉妹は馬車で愉快氣に氏の邸宅に集りますと既に二人の來客が主人公の歸宅を待つてゐました。皆一同客間で挨拶や御茶に暫時かゝつて居る中に二杯目の茶でヒール夫人の舌が非常に柔かになり始めたと思ふと直に評判の早口で

『ラセル樣、貴下は御聽でしよう、一體全體奈何したと申のですか、實際私は喫驚しましたよ。私はアランデルを大好で、良人などが此地方で談話る人は貴下とアランの外に無とよく申て居た程です何だか俄に面倒が彼人に起たと云ふ噂ですが、貴下は御親友ですし子供の樣にして被入ますから御存知でしよう。』

ベテは急に息苦しさを感じ出したが無言である。ラ氏は徐に茶を喫しつゝ別に動する色はないので夫人は

『男子と云ふ者は何て冷淡無情なものでしよう、生死に關する事でも貴下を激さする事は不可能でしよう。』

『昨日逢つた時は平日の通り至極元氣で居りました。』

とラ氏が平氣な挨拶をするので尙更夫人は激して

『其だから驚くのですよ、富裕の中に生れ落ちた人と云へば彼人ですが、其が藪から棒に財産を皆他人に取られて仕舞ふのですのに別に心配もしないのですもの。』

マレは眼を丸くし

『エー？、アラン樣はあの立派な御住宅を御出なさるのですて？。

『半月内に賣家になるのですと』ヒール夫人とは正反對の妹アリソン孃が陰鬱な調子で返事をする。

『奈何して私共友人達に一言も知らせなかつたのでしよう。私は昨日の新聞で始て知つたのです、世間では様々の風說が立つてゐます。ストン先生は、アラン氏から直接に聽たのだてと云はるゝには、何でも今まで生死が判明なかつた伯父が急に濠洲からとか出て來て財產全部を己が所有だと主張するとかですよ。此人はアランさんの父君の兄なのでしようかね。一體今まで何處に居たのでしよう。何故早くから自己の權利を主張しなかつたのでしよう。甥に何もやらぬ程の吝嗇家でしようか。アランさんは一文なしになつては仕舞ふとかですね。』

『ヒール夫人、貴女は私よりも餘程御存知です』と云ふ紳士の口元には微笑がありました。マレは熱心に

『氣の毒なミスタ、アラン、あの立派な書齋も書籍も御賣拂ひなさるのでしようか』

『可愛想ですが何もかも悉皆拂うのですよ。實は私の宅にでも置て上げてもいゝのですが本人が氣位の高い傲慢な處のある人間ですから、此方からは遠慮して云ひ出せませんの。』

『御同情に感謝を表し得ぬ程の傲慢でもありません。』

と突然の聲に夫人は驚き視ると話題の主人公が恰度此方に步みつゝある處です。皆顏見合せて暫く無言であります。アランは呑氣な態度で一同に會釋し夫人の側に坐を占めて

『何卒御構なく御話しなさい。今日は三軒訪問致しましたが行く先々で私が話の種子らしいから御邪魔をしてはならぬと思ひ引上げ、此家丈は御邪魔になるまいと考へて來ると同樣なので……』夫人は活氣づき

『一寸アランさん、爰にゐる者は皆貴君の友人ばかりだから遠慮會釋は入りませんはね、本當に私は今度貴君の身の上に降りかゝつた不幸を聽いて普通ごとゝは思へません、何うかあの煉瓦館は賣らないで濟む工夫はありませんか。若、市中からの變人でも

に買はれて、私達が交際の出來ない様な連中が住んだ日には私共の迷惑は大したものですよ、だから急に出て來た貴君の伯父さんに勸めて是非爰へ來て住む様には出來ませんかね、あの様な昔から代々の家が他人の手に入るは遺憾千萬ですもの。」

『青年の眼には不興の色ありラ氏の様子に憤然たる處あるも夫人は氣付かで喃々と語を續け

「まあ如何する積ですか。何處へ貴君は轉住る御計畫？高貴な書類は皆御賣になる積ですか、えー？」

「早速目錄を御送附申上ますから、宜しく御買上を御願ひ申ます、又自身の方針は未定で御座いますが何れ定り次第に御通知申上ます」

夫人の妹は口下手ではあるが常識はある。

『其までは可成色々な事を申さぬが一番親せつの途ですね。サー姉さん隨分遠方ですから餘り御邪魔をしてゐますと暗くなります」と催促されて嫌々ながら立上り

「今週には是非一度食事に御出でなさい、アランさん。御斷はいけませんよ、良人が大變貴君を好きましたから今存命て居て御災難を聞いたら嘸……。」

ラ氏は最早さゝかねて夫人の側に進み昨今購入した油繪をみてくれとて隣室に伴ひましたが間もなく馬車が門を出てゆきました。

アランは夕食に居殘り快愉氣に笑話してゐるのをマレもベテも不思議におもひ殊に妹の方は同情に胸塞がりて平日の元氣が全く消えてゐます。

食後に高臺に望遠鏡をみに四人で昇り、マレがラ氏に敎へられて天を鏡で覗いて居る間にベテはアラン氏に向ひ

「星など鏡なしで見る方が良ではありませんか、若人間が澤山細微もの遠方のものを見るが必要なら神様が其様な視力を下さるから望遠鏡など入らぬと思ひますが、是は愚な考でしようか。」

「私は貴女の意見には賛成が出來ません、上より人間が授與いた智能により發見されは科學は何でも大切なもので我々を益々光明に導くものであります、

「あゝ神の智と識の富は深かな其審判は測り難く其蹤跡は索ね難し」です、神が我々を取扱ひ給ふ其道は時々私共には了解かねることがありますがしかし其中にも神の智と識との富が充滿して居るのです」

ベテは俄にア氏の方に向き直りやゝ震聲にて

「眞心から私は御氣の毒に思ふて居ります、併し私共に何も出來ないのは悲いことです、貴君は如何してこれを御辛抱が出來ますか。」

「御同情は嬉しく存じます、最初は苦痛を感じましたが最早や其を通り越したのを感謝してゐます。」

時は初夏の頃で庭にある薔薇や木蘭が優き薫を二人に送り、空は輝く星辰にて鏤められ、柳に梟の叫び聲、牧場に流るゝ小川の蛙が靜けき夜の音樂をしてゐます。

「ベテ、今度は卿の望遠鏡を見る番です」と姉に呼ばれて覗きはしたが、露を宿せし眼には何も曇つて見えません。其後二人はラ氏に送られて歸宅の途すがらアラン氏に降りかゝりし不幸を直委くきく中にマレは良案これぞと手を拍ち

「媾するとよろしい、先づ第一金滿家の一人娘をアラン氏が貰ふことです、すると今の館を人手に渡さずして自分で買へるでしよう。」

「其は妙案だ、一ッ妙齡の、金持の娘を探すことだね。」

と老紳士は高笑をすれば、ベテは嘲弄る態度で

「金の爲に結婚する男子は大嫌ひ、金が凡の事の上に立つとなると金ある妻は夫を支配する樣になるでしよう、女は嫁すれば夫に從ふべきです。」

「ベテは新しい女でないね、當世の婦人は何でも支配したり先に立つが好ではないかね。」

「ラセル伯父さん、私は男子を支配し樣とはおもひません。」

小兒科病院（看護婦の物語）

テニソン作
原田ことぢ譯

一

院長呼べば　入り來る　醫師を
始めて　見しわれは　寒さに
凍る　思ひせり　フランス國や
くに〳〵で　醫學を今や　卒へしきみ
髪の毛こはく　且赤く　聲太くして
むねひろく　兩手は太く　無情なり
多くの人の　噂さには　くすしき療治
なしもせど　君は手足を　殘さんと
つとむるよりは　ナイフもて　切るを樂しと
思ふとや　赤く肥れる　粗忽さは
如何にも其と　思はるゝ　君は死人の
前にても　戯れ云ひて　打ち笑ひ
或は己が　飼主を　愛して膝に
つきまとふ　生ける犬をも　切りさきて
野蠻の人が　獵にとて　矢じりにつける
毒に浸れ　ほゝゑむ人の　たぐひなり
かゝる事ども　あるべきか

二

こゝに男兒は　居たるなり　愛の聲音や
ほゝゑみや　慰あたふ　眼なくば
幾多の小供や　死にたらん　この病室の
一人の子　彼は車輪に　飛ばされて
すべての骨は　おしつぶれ　再び立たん
望なし　醫者は男兒を　やさしくと
扱ひたれど　聲と顔　親切の色は
露もなし　治る見込は　なきながら
いざとてちらと　診察し　あら〳〵しくも
云ひけるは　「此子は永く　世話いらじ」
されど妾は　答へけり　「祈なしてぞ
倘更に　エスに導く　つとめあれ
これぞ大なる　務なる　わらべは凡て

主の者ぞ　我は殘らず　己が子と
思ひて救を　祈るなり」　されど國手は
ふりかへり　「汝はまことに　良き女
祈るもいかで　折れし骨　つぎいやすこと
かなふべき」　あざけりつゝも　獨ごと
エス君殿の　萬能を　稱ふる時代は
はや過ぎぬ」　小聲に云へど　我きゝぬ。

三

エスの時代は　過ぎしとか　否さはあらず
今は只　うすきあけぼの　さしゝのみ
これよりいよゝ　榮えまさん　救主世に
在まさずば　いかでか我は　やむ人に
此身をさゝげ　つかへえん　「ちいさき一人に
するわざは　我になせると　おなじなり」
この御言葉の　なかりせば　病の姿や
うとましき　にほいをいかで　忍ぶべき。

四

醫師は去れども　我等きぬ　おさな子たちの
病室に　これなる空の　此の床は
我等が愛せし　なさし兒の　やさしき女子の
名殘なり　ネムの植木に　觸れもせば
直ぐに二葉を　とづるごと　感じの強き
子なれども　いたみをよくも　堪へたり
語るはなしの　可愛くて　袂のぬれし
幾度ぞ　年に似合ず　恩を知り
情こまかき　かのエミ子　覺えまさずや
君はしも　花を賜ひし　ことありき
幾時の間も　香をかぎて　手に取り持ちて
遊びしも　ついには花と　語るなり
神の御業の　あらはるゝ　野山をまゝに
あちこちと　さすらふ事の　かなふ身は
野原に咲ける　一輪の　黄金の色の
クリンザウが　もてはやされて　よろこびを
與ふることを　知りぬべし。　やまひの牢に
住むものに　のどけき春の　來りぬと
つぐるは花の　外になし　天つ使の

御つばさの
愉快になして
與ふなり
胸の上にて
其顔は
靜かにねむる
思ひなし
不憫の者や
なりたれど

五

なさけの深き
ゆきたれど
小供はたへて

六

わらは看護の
悲みて
思ひし事は
さゝやきを

そよ風のごと
新なる
此日エミ子は
兩手くみ
たぐひのあらぬ
樣なれば
聲をひそめて
明日こそは
助かるべくも
院長と
わらは再び
知らざりき
身となりて
惱みくるしみ
なきぞかし
耳するどくも

病室を
力をそゝぎ
花もちて
青白けれど
美しさ
ねむれるものと
院長が
施術の日とは
おもほえず。
戸口の外まで
かへりしも
此の時のごと
かつつらく
エミは國手の
きゝければ

己が床より
かたるには
施術をすれば
どうしませう」
しばしの間
エス樣に
大きい聲で
あの繪には
かいてあるのを
御許が
慕ひまつれる
おさな兒を
小供は常に
「ハイします
申上げても
お寢臺が
どうして御分り
當惑し

ひそ／＼と
『ねーアニ子さん
いけまいと
とはれてアニ子
考へて
どうぞ助けて
申ます
『おさなき小供
ごらんなさい」
部屋に賜ひし
エス君が
いだき給へる
喜べり）
でも神樣に
神樣が
澤山あつて
なさいます」
考へたれど

次の小供に
先生が
仰いますの
さかしくも
『もし私なら
下さいと
ねーエミ子さん
來れよ」と
（かく云ひたるは
掛圖なり
御膝の上に
樣を見て
エミ子は又も
大聲で
御部屋の中に
わたくしと
アニ子は少し
又こたへ

「エミちゃんあなた、それならば　兩方の手々を
御ふとんの　おうへにのせて　お置きなさい
キリスト様は　大勢の　御世話をたんと
なさいます　でもエミちゃんが　おふとんの
外に御手々を　出して居る　幼さな娘で
ありますと　ハッキり祈れば　よいでせう」

七

三晩はわらは　附そひぬ　今一と夜さと
つとむれど　脳は目まひを　くるしみて
力のつきしを　おぼえし夜　わらはの休む
順なれば　まだ逝く事は　なからんと
思ひて我は　ふしたるに　眞夜中頃に
雷はなり　窓のガラスに　あられ打ち
ねがへりなせし　其時に　夢か現か
まぼろしか　あらしと外の　くらやみに
母に別れし　羔の　哀れになける
聲しけり　施術ナイフの　きらめきと
死なんばかりに　さけびたる　よわきエミ子の
あはれなる　夢は間もなく　さめたれど
白みかねたる　曙に　エミ子は側に
ほゝゑみて　立つが如くに　思ひたり
手術の時の　きにければ　醫師に從ひ
我はしも　エミ子の部屋に　入りにけり

八

國手はすでに　恐ろしき　器械をそろへ
とゝのへぬ　又もやねむると　よくみれば
こはそも如何に　おさな子は　あはれなつかし
あいらしき　やせて小さき　兩手をば
蒲團の外に　出せしまゝ　永き眠に
つきたりき。　エスキリストの　御權能は
今は失せしと　云ふは誰ぞ　世人の冷評
何かあらん　わらべの神は　頑是なき
エミ子の祈　きゝまして　御膝の許に
とりましぬ。

彙報

○中央委員會

二月十三日土曜日午後二時半より本部に於て開會せり、出席者は、井深花子、津田梅子、長谷川喜多子、山田千代子、小此木松子、河井道子、ミス、ウエスト、ミス、マクトナルド、ミセス、ヒフイッシャー、ミス、ベーカー、ミス、カフマン、ミス、ページ、ミス、レーガン、ミスオスグード、河口正子にて。井深花子の聖書朗讀ミセス、フイッシャ、山田千代子の祈禱を以つて開會し、先づ前回の記錄朗讀、會計報告あり何づれも承認に決されたり。

それより米國ニユーヨークグプスフエリー女學校より寄贈し來れる金五百圓の使用法につき其の金額を夏期修養會の不足金の内に入るゝ事を河井道子より提議しフイッシャ夫人の賛成あり、可決さる。報告に移りて

(イ)横濱捜眞女學校青年會本部同盟に加入せり

(ロ)婦人傳道會社の依頼により昨年十一月河井道子新潟縣ド新潟、高田、長岡、柏崎等を巡回し歸途上田により同町梅花幼稚園保姆傳習所新青年會を訪問せり。また本年一月大阪に赴く途中名古屋金城女學校青年會を訪問し大阪にてはプール、ウヲルミナ兩女學校を訪問す、休暇中とて生徒には面會せざりしも校長に面會せり。二月五日より三日間宮城女學校青年會主催となり東北地方諸學校生徒を招待して開ける東北修養會の招待により河井道子は三谷民子外村義郎氏と共に同地に赴き講演をなせり、この集會して四十六人の求道者を得内六人は男學生、一人は巡査一人は小使なり、歸途工場地なる福島縣川俣に赴き同地女子青年會休養所を訪問せり、同休養所は元横濱女子青年會員なる未亡人にて同地に傳道師として赴任し若松日本基督敎會ノース宣敎師の下に働かるゝ田丸よね子姉が女工の慘憺たる境遇を目擊し同情の念禁じ難く二三の信者なる婦人と共に設立せられたるものなり、(河井幹事は同地傳道の困難なる

事、女工等の勞働時間の長き事、其の狀態及田丸よね子姉の同所經營の苦を報告す)。河井幹事は同休養所にて二回の講演會を開き一回は出席者百五六十名を算し、他の一回は僅か十五分間なりしが信者なる一人の小學校教師補習科生を伴ひ出席せり、尙郡山日本基督教會を訪問せり。

(ハ)河井幹事は二月十日開かれたる東京慈善協會に出席し東京女子靑年會及外國女子靑年會に於ける旅行者の友の事業につきて語れり、尙同縣は佛教側の代表者救世軍々人もありて各其の旅行者保護に關する事業の報告をもなしたる由。

(ニ)財團法人の申請は漸く昨年十二月に許可を得、神田の敷地及安藤坂納戶町兩寄宿舍の財產を財團に移せり、其のため及其の他の費用併せて約一千圓を要せり。

(ホ)豫算委員より豫算委員會及其席上にて編成せられたる豫算案の報告あり、中央委員は該豫算案を可決す。

(ヘ)外人宿泊所、外人宿泊所は一時閉鎖せり、精算の結果參拾壹圓參拾錢の不足を生ぜしのみ、家具の大部分は女子英學塾にあつて保險金一千圓なり、尙他家に貸與されしもの併せて千二百圓餘の價格を有す。

(ト)雜誌「女子靑年界」は現在千五百部を出版しクリスマスには千六百を出版せり、米國加洲サクラメント一女子靑年會は每月百部宛を購讀す、二千部を出版するに至らば獨立をなし得べし。

(チ)東京靑年會、目下十八の聖書の組あり、四月以來二十一名の受洗者を會員及聖書の組の生徒中より出せり、讃美練習の組ありて十五人の生徒あり、一つの新らしき英語の組あり、祈禱週には每日集會を開き、最後の日曜日には神田の靑年會館に、女學生大會を開きしに雨天にも拘らず二百人以上の出席者ありき。靑年會日曜學校には二百餘の兒童を有し、十五人の會員これが責任を分擔教授す。三井病院の每週の集りには平均三十五名の出席者あり他の病院

よりも一人の看護婦來會す。凡てのクリスマス祝會には五六百人の集會者ありき且好友園のクリスマスには多くの會員等自ら贈物を製し又諸支部は贈物を寄贈して他人のために盡す機會を得たり。旅行者の友にては三人の働人を得又近日中に野村鐵道院管理局長の好意により中央停車場に一室を得てこの働を開始する筈なり。一月下旬旅行者の友係員の手により救はれて奉公に出でしものゝ爲集會を開き二十六人の出席者ありき。好友園日曜學校には凡八十人の兒童を有しクリスマス祝會には親の爲に贈物をつくれり、この第一回クリスマスに於て子供等はこのクリスマスには他人に物を與ふべき事を學べり。好友園に三つの英語の組及一つの讃美歌練習の組あり毎月衛生講話求道會等あり。二人の保姆は園内に住居し毎木曜日夜兒童の母親を歡迎して、各自仕事を持ち來りて共々に之をなす樣になし居れり。舊冬二回の求道會を日曜學校父兄のために三番町事務所に開く。納戸町に男兒及女兒のために二つの英語の組あり。音樂學校卒業生にて東京府立第一高等女學校の教諭なる鈴木のぶ子姉青年會に同情を有し今回同姉の發議により音樂會を開催する事となり數名の有名なる演奏者をも得準備着々進捗して二月二十七日開催す。

(リ)横濱女子青年會、八十五名の會員を有す。英語の組に來る十二才位の少女も會員となれり。横濱市内各事務所商館等に六十人の女事務員あり内二十四人は午後若しくは、正午に青年會に來る、聖書の組は城戸順子姉これを擔任し正午にあり、九人の出席者を有す。ベーカー氏他の組を擔任し三人平均位の出席あり、會員は今一つの組を希望せり、英語會話の組一週に五つあり其の他二つの西洋作法の組あり。日曜學校は八人の兒童をもつて始めしが今は三十人餘りにて二人の教師擔任す、同校兒童にして十三才なる一少女其の親により新潟縣に賣られんとせしを知り日曜學校教師之れを救ふ、青年會幻燈三度用ゐられ一度は工場にてなり。横濱に於ける工場は

小さきものにて女工の數も五人より百人迄なり。求職者も求人者も共に來りて青年會にたのむ者多し。

(ヌ)青年會支部、目下青年會支部數は今回加盟の捜眞女學校を併せて二十なり總會員數二千百六十五名(河井幹事よりこれに附加して一支部が一ヶ年に凡そ五百圓の金額を取り扱ひし其の會計報告を朗讀せり)。

(ル)雜件

前萬國女子青年會々長トリトレ夫人は今回の戰爭において其の愛子を失ふ。

現萬國女子青年會長ワードグレーブ夫人は同じく其の兄弟を失ふ。

亞米利加合衆國女子青年會長ダッチ孃は十二月二十七日永眠せり。

英國女子青年會委員長ビントンドバビル姉の兄弟行方不明となれり。

トリトン夫人は其の子息の戰死の報を受けて後ロンドン在住の獨逸少女を招待せり。

ミス、ワトネ一月中婚約せり。

ニューヨーク及桑港女子青年會が日本遣英赤十字看護婦の一行を歡迎し青年會の事業を紹介せりとミス、クルートよりの報告ありたり。

等の諸報告あり。是に於てミスダッチ、トリトン夫人の子息及ウオルドグレーブ夫人の兄弟のため弔辭をビクトントーバビル姉の兄弟のため見舞狀を送くる事につき井深花子の提議あり一同賛成可決さる。

議事としては上田梅花幼稚園保姆傳習所青年會、弘前市筑前女學校青年會及東京東洋英話女學校青年會同盟に加入の件につき、ミスウホストの提議長谷川喜多子の賛成あり、可決。

終りにミス、マクドナルドより二月二十八日萬國學生祈禱日に當り各支部此の日を守り東京にても特に此の日を守るべき事を述べ。又四月十日より行はる丶特別婦人協同傳道の事につき報告あり。ミス、ウエストの祈禱を以つて閉會せり。

○米國羅府日本基督教女子青年會　(クリスマス祝賀會)

舊冬十二月廿八日夜七時半より本會に於て近隣日本婦人連の親交を溫むるため、同胞婦人及兒童のためとクリスマス祝會を催せり。當夜集まりしは十數人に過ぎざりしも極めて打とけたる親密の會合なり

しは嬉しかりき。先づ室內にクリスマスツリーを飾り開會の辭に次ぎ聖書朗讀及讃美歌合唱あり此間傍に聖母マリヤと馬槽とを現はしてキリスト降誕の一班を具體的に示したり終りて茶菓を饗し兒童等はミスタビングの指導の下に愛らしき遊戯をなし、御褒美として各自に繪本を分配し、それより餘興の福引に移り一同歡を盡したり。尙兒童等のために兼ねて靴下形の美しきキャンデー袋を用意したればこれを御土產として分ち、九時頃散會したり。本會の社交部は爾後益々此種の働に盡力する考なり。

翌廿九日午後一時半より米國女子靑年會評議員なるルーパート●チョンソン夫人の懇切なる招待により本會々員及一般日本婦人兒童等は同夫人邸內の美しき音樂堂に於て樂しきクリスマス祝賀會を催したりこは同夫人の日米親善を盡さんとする美しき基督敎の精神に基きしものにて、日本婦人によりてなされし餘興のクリスマス活人畫は米國婦人方の熱心なる努力によりしものにて、白衣の天使の祝歌につれ聖誕當時の光景を現はし一日莊嚴の感にうたれて堂內をそのまゝ天國に化したるかと思はれたり。なほ愛らしき少女等の手に／＼花籠を携へて、これを馬槽の周圍に置き並べたるはいとも愛らしかりき。それより小原牧師の祈禱、カミング博士の聖誕に就きての有益なる說敎あり、終て茶菓の饗應あり米國婦人の溫情は熱きチョコレートのそれにも知られて日米兩國民一なる感一同の面にあふれ、雜談に興を沸しそれより再び日本敎會日曜學校兒童等の楓の如き手して祝歌遊戯あり、なほ一少女のピヤノの彈奏は殊に大拍手を得たり、かくて皆十二分の滿足を覺えつゝ三々五々家路につきしは五時近くなりき、當日の會集は日本人五十餘名、米國人三十名斗りにて至て盛會なりき、右祝會に引續き彼の活人畫に入りし學生等の內五人はミスタビングを指導者として市外ハーモーサ海外にミスグレーヂアー所有の閑靜なる別莊を拜借なし親しき家族會を催して各自家務を分擔し天然の美に觸れて身心を淨め精神の修養に勤

め、來る年の活動を期して末年を樂しく有益に過したるは無上の滿足なりき。

○傳道女學校青年會

當支部は誠に微小にして何の表はれたる仕事もなし能はぬ事に御座候へども唯神の御權と愛姉方の御指導によつて漸次成長いたし度存じ居り候、扨旅行者の友の昨年中の御活動の報告を承りあたら危きに陷入らんとする多くの同胞の爲に最も適切なる導き手となりて御盡力被下る姉上方の御働きを深く喜び且つ祈り居り候。此處に金五圓封入いたし候、誠に僅少には御座候へども當支部姉妹の眞心故旅行者の友の費用の幾分となし下さらば幸ひと存じ候、來月は役員改撰期とも相成り此年こそは更に新なる力にて當支部にても姉妹共に進み度考へに御座候、就ては新らしき會員も多くなり居る事に候故本部に於ける御姉上方の御働きの模樣も伺ひ度且つ御指導をも得たく切望いたし居ることに御座候、何卒御都合遊ばして誰にてもよろしく候へば來月の第一金曜日午後七時まで御入來下さるまじくや、若し時間御都合あしく候へば變更いたしてもよろしく候、右是非御願ひ申上候、最後に萬國の女子青年會員諸姉妹の上に御祝福いよ〻豐かならむ事を祈申候。

○第二回東北修養會

私共の女子青年會は誠に力弱き者で御座いますけれども全智全能なる神樣の御手に賴りまして二月の五日、六日、七日と三日間第二回東北修養會を開きました、先づ開會式に於て神樣の御惠の豐ならん事を充分に祈り、式後外村先生と河井先生との二組に分れて聖書の研究がありまして非常に有益な御講義を承はりました、此の日の第一講演河井先生の時には當校の生徒過半百數十名と他の人六七十人許りの聽衆でした、第二稻垣陽一郎先生の時には凡て〻百人程、第三の外村先生の時は百名以上で御座いました。第二日目の始めにも祈禱會を致しまして昨日の

續きの聖書研究を致しました、第一講演稲垣先生の時は聽衆全體で百名程、第二の河井先生の時には土曜日の午后で時もよう御座いましたので外來の方ばかりで二百人以上も御座いまして一番盛かんでしたこの御講演前に一同紀念の撮影をしました。第三の三谷先生の時は百五十名以上ありました。第三日目は日曜日で御座いましたまた聖書研究も御休みで外村先生が三番町日本基督教會で禮拜說教を遊ばしました。午後の外村先生の時には百六十名ばかり夜の三谷先生の時には百五十名程でした閉會式には河井先生にお話して頂きまして又今日までの御惠を感謝いたしました。かくて會は了りましたが各講演の後に委員が紙と鉛筆を配って歩いて以後基督信者たらん事を御決心遊された方の住所姓名を記して頂きました、其の紙を數へて見ますと四十六枚御座いました。少數では御座いますが此の會が私共に靈の糧を豐かに供給してくれたのみならず、これ丈の求道者を出す事になりましたのは非常に嬉しい結果だと思ひます。此後も猶之等の人々の爲に牧師其の他の諸先生に御願ひ致して置きましたが皆を導いて眞のクリスチャンにする事が出來ますならば本當に嬉しい事と思ひます。

○女子英學塾青年會

先學期末の總會は都合上今學期に延期致し先學期末には有志者相集り感謝の祈禱、感話等を以て小集會を催し候。二月五日午後三時十分より總會並に役員委員總選擧を井上會長の下に執行致し候、會長は役員一同を代表し過ぎにし一年間を無事に過せしは上よりの御惠はいふまでもなき事ながら、又會員一同の熱心なる賛助による事と感謝の意を表し又同時に役員どもの不行屆きを謝し申候。次に書記會計、並びに聖書の組、圖書等につきて報告これあり候、會計の一年間の報告は謄寫版刷にて各會員に配布致し候。當日は殊に本部よりマクドナルド先生御來會下され新たに選ばるべき役員のために御奬勵の御言

葉を給はりしを深く感謝致候、先生の御話しの大要は「新らたに選ばるべき役員はその重き責任に驚き恐るゝ事あらんも自分の弱きを知りすべてを神に任せ神の僕として御心にかなふ事をなしうる樣祈りつゝ責任を盡されん事を望む、又退任役員はこれよりは社會のため人に對して今までよりも大なる重き責任の加はりしを自覺し又今までの失敗はこれより先自分の助けとなる事を信ず」云々。にて候。役員投票の結果會長、陶山よね、副會長、植村惠子、書記葛山喜代、會計、稻沼妙。集會部委員會、櫛田孝子誘導部委員長、石渡せつ、社交部委員長、太田美子販賣部委員長、安村すゑ、圖書係、秋田文田畑幸の諸姉と決し申候、これより一年間各々責任を盡すに當り常に神の遜りたる僕として御旨のまゝに活動の出來うる樣御祈りの端に御加へ下され度願ひ上げ候

左に大正三年度會計報告を掲ぐ。

收入之部

一金六拾五圓七拾壹錢　慈善のため各組より集金
一金七拾圓六拾錢　各組より會費の集金
一金五拾貳圓六拾貳錢　前役員外國への賣上高
一金貳圓七拾錢　個人として青年會へ寄附
一金拾六圓參拾七錢五厘　テーブル掛ナプキン一部分の賣上高
尙外國より送金の見込
一金參拾四圓九拾錢　人形賣上高
一金拾九圓　夏期修養會中賣上高
一金貳拾貳圓九拾八錢　前年度繰越高

合計貳百八拾四圓八拾八錢五厘

支出之部

一金四拾圓　本部へ寄附
一金七拾壹圓四拾錢　外村氏、家庭學校、幼稚園、救世軍、恤兵部、東北救濟等
一金拾六圓拾參錢五厘　講演者及聖書の先生へ御禮
一金七圓八錢　雜費
一金拾圓五錢　書籍代內譯求道者へ、受洗者へ、雜誌
一金七圓　卒業生へ贈物代
一金拾貳圓八拾八錢　テーブル掛、ナプキン、財布共に材料
一金六拾八圓貳拾錢　夏期修養會代表者費用（十一人分）
一金五圓四拾參錢　修養會にて販賣せし材料
一金拾貳圓四拾參錢五厘　人形及着物材料
一金八圓五拾錢　カードケース（目下ミセスプラオンに託す）

合計貳百五拾九圓拾壹錢

差引殘金貳拾五圓七拾七錢五厘

また、販賣部報告は左の如し。

一金貳百〇貳圓貳拾七錢五厘　品物賣上高
一金貳百〇參圓拾五錢五厘　品物仕入高
收入總計　四百八拾七圓拾六錢
支出總計　四百六拾貳圓貳拾六錢五厘
差引殘金　貳拾四圓八拾九錢五厘

○神戸女學院青年會

久しく御無沙汰をいたしますが河井先生はじめ本部の皆様方御變りも御座いませんか、私共も神の豊けき御恵みの許に愉快な日を送つて居ります。

神戸市内の商館、銀行、會社などの女事務員の方々を招待していさゝかなりとも神様を紹介申し度と云ふのが兼ねてよりの私共の希望で御座いましたがいよ〳〵去る二月十一日紀元節に先づ最も手近かな所よりと存じまして神戸郵便局在勤の電話交換手を十五名お招きいたしました、實は卅名と存じましたけれども祭日の事とて郵便局の方にも何かの催ほしのあるとかで十五名しか出席が出來ぬとの事で御座いましたので初めての試ろみではあり旁々小人數の方が好都合と存じましたから地の方面に手を出して人數を殖やす事も致しませんでした、小さい方々を導びいていたゞくに便利なやうにと思つてなるべく大きい方々をと御依賴して置きましたので當日御出下さいましたのは三名の取締の方をはじめかなり年長者許りでした。十時から十一時迄で學校の各建物を御案内申し上げ十一時より十二時迄では講堂に於て大防の林歌子女史の極くわかりやすい基督教のお話がありましてお客様に非常に感動を與へたやうに見えました、お晝飯は西洋の先生方五名專門部の青年會員が御一緒に樂しくお話しをしながらいたゞきました、食事がかりに選ばれた三人が朝の九時から天手古舞をした甲斐があつて櫻飯と茶椀むしと牛肉のトマト煮とかきの胷あえとがどんなにおいしかつたでせう、一時から二階の廣間に圓く坐つて三時半迄で遊戯をしたりおしやべりをしたり主客打ちとけて笑ひ興じました、何時の間にかお互の名も覺え込んで恰かも十年の知巳のやう、左様ならを云ふ時

には辛う御座いました。

翌日丁重なる御禮狀をいたゞきましたが、今迄であの日のやうに無邪氣に遊んだ日はなかつた、一生涯のなつかしい思ひ出になるでせう、神樣を數へていたゞいてうれしいと書いてあるのですもの、私共のうれしさは譬へる物もありません、たしかに成功の日だつたと考がへまして。

この方々のために聖書の組を開きたいと相談最中で御座います。

二月十二日青年會の總會を開き新役員を選擧いたしましたのでその結果を左に御報告いたします。

會長　渡邊きみの　書記　鈴木きよえ　會計　宮島きく
委員長（集會）杉浦久代　（會員）鹽見のぶ
（日曜學校）奥村政枝　（共勵會）桝井花江
（通信）山口幸　（傳道）岩瀬あい
（訪問）岩井はる

宮城女學校の青年會より祝電に對して誠に御丁寧なる御禮狀を頂戴いたし一同感謝して居ります。

日本婦人白國同情會

白耳義國が戰亂のために獨軍に蹂躪されて殆んど亡國の姿である事は血あり涙ある者の忍び得ざる處であります、殊に婦女子小供等の事を思ひ同情の念禁じ得ずして東京にある有志婦人が同情會なるものを組織して樣々の方法を講じ献金を募集して居ります、二月廿日から廿八日まで三越の大廣間を好意で借りて華族方の珍しき人形を拜借して公衆の展覽に供し其側諸女學校に依賴して普通の人形に着物をつけさせて是を賣り又玩具や、造花、國旗、白耳義の繪端書等を販賣してゐますが、豫想外の大成功で最初の二日にして大概の人形を賣り盡した程の景氣で御座います。女子英學塾、山脇高等女學校、學習院女子部、虎の門等の卒業生や女子青年會の會員などが代々に三越に一日づゝ出張して手傳を致しますが皆なか〳〵上手にて黑人の賣子も及ばぬ程の手際には驚く次第であります、只可笑い事には時々餘りの

忙しさと慣れぬ金錢の勘定とにて五圓幣紙を拾圓と見違ひたり、五錢と廿錢の白銅が一所であるなどで又一興を添へました。衆人は同情に富み入場券の代りに五錢以上の寄附を乞へば一日に少なくも百二三十圓に上る次第で、委員等は欣喜雀躍であります。此の展覧會が終りなば又何かの計畫が起るかも知れませんが、まづ第一に誰にでも出來ることは一口拾錢の寄附であります、今や六百以上の賛成員を通じて全國に是の寄附を求めて居ります。女子青年會各支部や又同情者或は此種の讀者は多少にかゝはらず御自身丈なり、又支部丈なり或は友人等よりも集められるなりして御献金下さるゝ様に願ひます御送金は直接なり東京牛込田町三ノ十二番地河井道子に御宛て下さるれば喜んで御取次をいたします。

尚同會の趣意規約を掲ぐれば

日本婦人白國同情會趣意書

歴史に類ひなき歐洲の戰亂は亦歴史に類ひなき大なる慘禍を伴へることといふまでもなかるべしそが中に最もあはれに最も氣の毒なるは白耳義國民なること何人も異論なからん彼等は國を擧げて他國の兵馬に蹂躪せられ居るに家なく食ふに物なく寒さに凍ゆる白髪の老人あれども顧みるに遑なく赤兒を懷にして飢に泣く婦女あれども救助すること能はず少女は己が身を守るに術なくして血の涙に咽び幼兒は保護者を失ひて路頭に彷徨ふその僅に機會を得て他國に避難したるものも夫又は父の生死を知らず他郷の空にて亡び行かんとする故國の運命を望むのみ

いづれの交戰國にても悲慘の事實や憐れなる物語は盡きせざるべけれど白耳義の如く國を擧げて修羅の巷に化せられすべての國民が家をも國をも亡ふが如き悲慘は世界の歴史にも曾て例なしあはれといはんか氣の毒といはんか適當の言葉を見出だし得ざるなりされば各國婦人の間に既に之が救濟の道を講じつゝあり此際われ／＼日本婦人たるものいかでか冷然として坐視するに忍ぶべき下名等こゝに相謀り左記の方法を以て廣く篤志家の寄附を募り彼の不幸なる白國人の救助の一端に資せんとす希くは厚き同情を彼等の上に寄せられんことを

大正四年一月

發起人（いろは順）

男爵夫人　岩崎　寧子　　長谷川喜多子
新渡戸萬里子　　伯爵夫人　大隈　綾子
尾崎　英子　　公爵夫人　大山　捨松子
男爵夫人　加藤　春路子　　河井　道子
津田　梅子　　侯爵夫人　鍋島　榮子
男爵夫人　瓜生　繁子　　山脇　房子
山本　多穂子　　柳谷　千代子

櫻田節綱　　岸　澄子

男爵夫人　三井苞子　　三井　五十子

三井　捨子　　三井　曉子

子爵夫人　三島彌子　　前公爵夫人　毛利　安子

規約

目的　本會は白耳義國の薄倖者を救濟するを以て目的とす▲位置　麴町區永田町一丁目十九番地大日本婦人教育會内に事務を置く▲醵金及方法　廣く同情者を募集するの主意に基き寄附金は金拾錢以上とす。數人分取纏め納付を希望する寄附者には領收用紙綴の手帳を渡すものとす▲募集期限　大正四年四月三十日限とす▲救濟の方法　醵金は委員會の決議を經適當の方法に依り之が救濟をなすものとす

○女子英學塾奬學金

東京市麴町五番町十六番地女子英學塾に於て左の規定に從ひ大正四年度奬學金學生一名を採用し一年間同塾に在學せしむる由にて右に適當なる候補者を選定中なり、志望者は同塾内奬學金學生選定委員へ申出づべしとなり。

奬學金志願者心得

一、志願者は年齡滿三十歳以下にして成る可く教師の經驗を有するものたるべし。

一、被選定者は、將來女子教育に從事する者に限る。

一、志願者は在學せし學校若しくは就職學校の校長或は教師の推薦書を出すべし。

一、志願者は詳細なる履歴書並に醫師の健康診斷書に自筆自作の英和作文を添へ差出すべし。

一、志願者の内より一名を限り選定委員之を選定す。

但右選定は品行方正學力優等身體健康なるを標準とす。

一、奬學金百貳拾圓を七八兩月の暑中休暇を除き月額金拾貳圓宛を支給す。

一、奬學金の支給期間は本年四月に始まり明年三月に終る。

一、受領者は後日奬學金を返濟するの義務なし。

一、志望者の願書提出期限は三月十日迄とす。

讀者便り

○白耳義への贈物に奔走いたし

尾道　阪本花代

前週中は白耳義へ古い物を寄附する事に奔走いたし大きな箱はシャツや色々のものを一ばい慰問袋も五十許りこしらへミスガーヴインも非常に喜ばれ近い内に感謝會を開く積りにて候、當地にては日曜學校の方は生徒はあれど働く人なく御困りにて、私も御助けいたし度きは山々にて候へども、現在の地位にては自分の信仰自由を許され居るのみにて公然立ち働くわけには參らず働く御方々の苦心も御察し申上げ自分も熱心に祈り居候皆樣も御祈り下され度候、キリスト教主義の婦人數名毎週集て一時間半づゝ聖書の講義と御仕事をして貧民を助くる小さき會を開き候何卒これが少しにても人々の益になる樣祈り居り候、何分にも當地の風俗人情等に疎き私とて時々は失敗する事もあり、何卒日々忠實なる姉として過ごし度又神樣に近つき度思ひ居り候、いつも「女子青年界」によりて勵まされ申候。

○殆と仕事も手につかぬ程で御座います

東京　上野俊子

私は色々の事情にて同級生の者より多くの空時間が與へられました事は深き主の御心のある事と存じます、自分の事のみ考へ勝ちであるこのつまらぬ者が此の與へられた者により少しでも御忙しき友の助となり慰を與へる事の出來ます事は身にあまる幸福で御座います、もつと〳〵此の失敗勝ちな子供が人のため友の爲め盡す事が出來ます樣に殊に同級の友のために助を與へる事が出來ます樣に御祈りのはしに御加へ下さいまし。此の四五日喜びと感謝にあふれて殆ど仕事も手につかぬ程で御座います、それは二人の友人が泉より受洗の許可を得た事でありますが全く今迄祈て〳〵、この喜ばしき日の來らん事を待つて〳〵居りました、信うすき者は時々失望いたしましたけれども主の姉のあつき絶えざる御祈、つまらぬ私の御願をも御きゝ下さいました、眞實に心から友のために祈るならば必ず御答のある事を信じます。眞に悶え求めて祈て遂に主の御前にひれ伏された友の心中感謝御喜びはどんなで御座いませう、未だ悶えて居らるゝ友があります、御互ひに忙しいので御治する時がありませんが、かゝる友人方も信仰生活に入らるゝ日の來る事早きを祈るのみであります。私は開かるゝ青年會の御集にも師の君方の上に宮城女學校の青年會諸姉の上にも御惠みあらん事を今から祈つて居ります。靜かに一室に入り考へ主と語り祈る時の心地感謝が力であり慰であります、昨夜の月淸き星は語らざる中に私共に主の御愛を知らせました、四五人の友と祈り語りましたこの聖き寮舍生活感謝の外ありません。

○浩一と命名いたしました

東京　加藤さく子

私は只今は平生通り立ち働いて居りますし子供も割合をとなしく生立ち浩一と命名いたしましたからそれも一寸御知らせ申して置きます、新年號のお百合樣の記事誠におなつかしく又面白く拜見致しました。

○毎月購讀したいといふ方も御座います

大津　馬屋原妙子

女子青年界一月號の始めにありました「日々讀み考へ且祈れ」とありました十七箇條はどれ程私の胸へ深くしみこみましたか早速日誌の部に書きつけました全く私は聖書を讀む事を怠り勝になつて居ります密室の祈が短う御座います。「未信者に我生涯は如何に映ずるか」を考へますと御恥しくてたまりません、未信者でも其行に於ては信者と名のみの私よりも勝れて居る人々を毎日眼前に見て居りますから「我は基督に人を導きしか」これも誠に御恥しい次第で御座います、全く信仰の弱さを表はして居ります、其の弱き信仰でも兎に角つゞけてまゐるのは私の爲に祈つて下さる方々が御出でになるからであると存じます、私も他の人のために祈らねばなりませせん。私の住居してゐます處の家員は皆犧牲的精神に富んで居ります人々です、自分では學校の仕事などが忙しくて疲勞しきつた樣な時でも家にかへつていやな顏一つしないで此の寒いのに御飯をたく事とか何かの水使ひを我勝ちにと致して居ります。全く信者とは名のみの私はどれ程敎へられますかわかりません、事々に私の誠意の足りない事を考へまして恥かしく存じます。私共は御互いにこんな樂しい生活は又とあるまいなどゝ申して居ります、昨年は名のみ日曜學校敎師で三度に一度位は休む程不熱心で全く恥しく存じました、それで本年からはと毎日曜日には都合をつけて出る事に致して居ります、生徒は尋常六年で多い時で六人位で御座いますが内三人は去年から一度もかけなく參ります、當地中學校の英語の先生の南石氏と申す方は非常に熱心な信者にて、日曜學校のため何かと盡力せられます、同氏の主唱で中學校内に英語聖書研究會が出來まして毎木曜日に京都から同志社のデビス氏に來て戴く事になりましたので放課後すぐ參ります、同校職員兩名はいつも出席されます當地組合敎會の人で「女子青年界」を紹介いたしましたら毎月購讀したいと云ふ方もございます、何卒せめて四五人でもとつて下さいますと御互に雜誌の内の話をしながら婦人會でも今一歩進んで働のある會になる樣にとの御相談でも出來ますかと存じてをります、只今の處ではいつも京都からか八幡からか講師の方に來て頂いて出席者は御話をきく丈で集まる人も十二三人位です。お百合さんの通信を見まして月日のたつのが早いのに驚きました、御歸朝も直ぐでございますね丁度私が初め塾に入りました頃に物干で洗濯物を干さうとして居りましたが丈がとゞきませんので困つて居りました時、お百合さんが來て物干竿をよくして下さいましたが其時のお百合さんの態度の優しく美しかつた事は今に至るまで忘れられません、最初の印象の深き事又「小事に忠なるものは大事にも忠なり」との聖言を思ひ出します、先日ロングフエローの矢と歌の詩を生徒に敎へました時に此事を思ひ出しましたお百合さんの事はよく私共では噂さ致して居ります。

○青年會の紹介の御蔭

布哇　伊藤くわ

其後先生方には御機嫌よく居らつしやいますか私事御蔭様にて土地が變りましても病氣にもならず元氣に淸い日を送つて居りますから御安心被下ませ船の中では河井先生が御紹介下さいました今西様が御親切に毎日室をたづねて下さいましていろ〳〵と御世話下さいましたので嬉しう御座いました。横濱を出て三日醉いましたばかりで後は普通で御座いました、室は三人で御座いまして他の二人の方は桑港に御出でになる方々でしたが御二人とも良い御若い方で御座いましたので樂しく日を送りました。四日目の日曜日には醉も大分よくなりましたと日曜で御座いましたので一人で聖書と讃美歌をかゝえて第一甲板の溫

室に參り一人で歌つて祈禱をして居りました時スコツトランドのミセスメーラードと云ふ方が旦那樣と御二人で私をさがしに來て下さいました、そして私を誘ふて食堂で開かれた外國人ばかりの禮拜に連れて行つて下さいました、この夫人は河井先生の事を能く御存じで居らつしやいました、そして私の室をたづねて下さいました度々御話も致しました。御親切な奥樣ですそしてこの御方は支那から日本に來て漫遊の後御歸國の目的で被來いましたが全歐戰爭の爲やめて日本は素通で上陸せず御歸りとの事で河井先生には御目に懸らぬがいづれその中亦必ず日本に來て御目に懸るつもりだから貴女から宜敷との事で御座いました。そして永久に船の中ではじめて御友達になつた日本婦人の私を忘れぬ樣にと私の寫眞を持つて御かへりになりました、そしてクリスマスの時分グラスゴーにかへるから早速御手紙と御寫眞を送つて下さるとの事で御座いました。

扨上陸の際ミスレーガンから御紹介頂きましたミスエリクソンにあつて無線電信を出しました處、その方は三ヶ月もまへ米國に御かへり遊ばしたとの事でミセスウオーカーと被仰る方が迎へに來て居て下さいましたそして本川牧師もその時來て下さいまして隨分と御世話になりました、そして女一人で旅館などに長く居るのは良くないと云ふので御二人が色々御心配下さいましてこの現在のスーザナーウエスレーホームと云ふ朝鮮及日本の子女を預つて居る寄宿舍に御紹介して頂く事になりました、本川先生の御世話で只自分の滿足する働のある迄遊んで居て日本から持つて來た金を費すのもいけないからとの事で少しづゝ事務の仕事をして居ります、日曜日には皆休みで御座いますので近くの南キング敎會(本川牧師の)に朝と夕とに參ります、そして每水曜日晩も祈禱會が御座いますので參ります、別にまだ友人も御座いませんし日曜日以外は時が御座いませんので未だ市中の一部より以外何處も存じませぬ、ミスベーカーが御紹介被下ましたミセスウイツングトンと仰しやる方が大變親切にして下さいまして色々と私の身に就て御心配下さいまして私の目的や境遇やを御話し致しましたので大變に悅びになつて來年一月からは娘分にして世話をするからとの事で御座いました、私も來年からこの親切な温い情のある方の御家庭で住み色々とむこふの家庭の風習なども覺え、英語もよい上品な言葉を覺える事が出來るのを悅んで居ります。これも皆青年會の先生方の御蔭と感謝して居るので御座います、當地では人にもよりますが眞實に下品な英語を話して居るのをよく見うけます。

○眠を醒し下され候事感謝に堪へず候

川俣　田丸よね

此度は河井先生事御多忙の御身にもかゝはらず尊き時間をさき給ひて山國の不便をも御厭ひなくわざ〳〵御出被下候事感謝に堪えず候、兎に角川俣にては始めての御來川にて甚だ不充分なる御事も御座候いしが御氣毒に存じ居り候、然し私共一同は大々刺激を與られ眠をお醒し被下候事感謝に堪えず候川俣の女工傳道に對する同情の念實に私共の怠りと存じこれより大いに活動致し身を捧げて働く決心に御座候、何卒萬事によわき小妹等のために力の與へらるゝ樣御祈り被下度候。

○神をもつと愛する外に途なし

仙臺　横澤つぎ子

三日間の修養會に對しては私個人としても感謝に堪へません、非常なる力を與へられ鼓舞されました、私は欣然んで人に對し職務に對す

る事が出來るも御蔭と存じます、あゝ出せば出す程、費せば費す程増加するものは眞正の愛と存じます、高きものを愛するがために他に對する愛が減ずるものでなく却て反對に非常の力を以て度をますとは面白い眞理の樣に思へます、神を愛すれば從ひて親とも兄姉妹、友人、下男下女にいたるまでを愛する樣になる理由であります、キリストが凡の者に勝りて我を愛せよ仰せられし事は全く人を愛する近路を敎へて下さいましたのであります。其故に誰々が信仰する、しないから、許可しないから、信じないなどゝ云ふ安つぽい思意では基督を知る事が出來ぬと思ひます。

今朝學校へ出て行く時には三寸ばかりの雪が、歸宅する頃には早一尺にもなりました、父から電話で學校の方に一泊してよしとありましたが、無理に歸りました、歸り道で考へましたことは自分の今持つてゐる缺點についてゞあります、歩きつゝ「我は罪人の首」と自白したパウロがなつかしく、大道に傘も何もかも打捨てゝ「オ、神よ赦し給へ此苦痛を癒し給へ」と叫び度なりました、一の小とはいへ試や誘惑に打勝つ事の出來ない苦痛は非常であります。併又此苦さ悲が喜に變化することがある即ち聖書にある通り悲しむ者は幸福なり其人は慰を得べければなりとの約束を私は信仰して居ります、自分は神經過敏で感情の強い方であるから自分の罪も極端まで悲みます、もしも私にして信者でなかつたなら今頃は如何であるだらふと思ひますと、實に不束ながら神を信仰する事の出來たのを難有く思ひます、同時に今後は全力をあげて己が缺點に打勝ちます、其には神をもつと愛する外に途なしと存じます。札幌の生徒はよく私を忘れす手紙をくれます又眞面目に神樣の方に進むので嬉しく存じます、世の中一般は基督敎を嫌ひます、其でこれはよいものと思ふても人のために惡く云ふて見たり又主義をまげるので眞神に從ひて若くるしみの中に這入るなら神が又助けて下さいます、世の聲に從ふは一時酒に醉ふか麻醉劑で氣が輕くなる樣なもの、神に從ふは淸水を飲むで渇をいやし元氣づきて働く樣なものです、何時も「千代へしいは」と云ふことを心に繰返して居ります、札幌の愛する生徒達が眞價のある人格を神によりて得んことを祈り居ります。

○河井先生と三谷先生へ御禮申上ます

九州　青山英子

過る日雜誌が屆きましたので每晩樂しみに讀んでをりましたいろいろ感想が湧きましたので一筆御禮の心を申上たく認めます、會說「隅の首石」を拜讀いたしまして深き御敎訓を味ふ事が出來ました、「私共も知能才機に於ては何の貢献をなし得ずとしても必ず己が受けし賜に相當したる貢献は出來ます隱れたる處にて盡す可き事が山々あります」讀みて此のところに參りました時あゝ神樣御許し下さいませと思はず祈りました私共のやうな薄き信仰の者でも人類の神化せんことの爲めに祈る事を學びます事が出來ますならば學び度きものと存じます、それから三谷先生の「光と燭臺」のことを讀みまして米國の御友人が氣むづかしい子供を夢に依つて愛せられたと申す美くしいものを讀みそれを考へながら臥せりました夜でした、私の後に多分エス樣でせうお前は子供を愛する愛が薄と御さゝやき遊ばされました、なぜですと私は後をふりかへりましたら夢は醒めましたが其御聲はまだ耳に殘つてをります私の心は以前よりも餘程柔かになりました事と存じます、いつでも神樣が子たる私共を愛し玉ふ其御慈愛を考へましては自分の慾をおさえてをりましたがあゝまだ〳〵私はたりません何卒して

神様の心に適ふやうな人になりたきものと存じます、生れて兩親の愛も知らず他人の手に育てられました子供等が眞心から哀れになりました神様は其子を愛せよと仰せになりますのです、先生方の御手を通して御導き下さる神様の深き思召の程たゞ〳〵感謝の外は御座いません厚く〳〵河井先生と三谷先生に御禮を申上ます。

〇會友申込（本部報告）

（普通）村上うん　岩倉よね　渡邊とよ
荻野初　布施とよせ　一條琴子
丹羽梅子　太井夫人　中路あや
清水すみ　小出滿二

〇會友會費領收（本部報告）

金壹圓也
野副豐子（自大正四年二月至同五年一月）　今泉つや（自大正四年二月至同五年一月）
土井八重（自大正四年二月至同五年一月）　岩崎智子（自大正四年二月至同五年一月）
一條琴子（自大正四年二月至同五年一月）　丹羽梅子（自大正四年一月至同年十二月）
中路綾子（自大正四年一月至同年十二月）　河井道子（大正四年二月分）
布施とよ子（自大正四年二月至同五年一月）　山本清子（自大正三年十二月至同四年十一月）
金貳圓也
加藤さく（自大正四年一月至同年十二月）　小出滿二（自大正三年三月至同五年三月）
齋藤むら（自大正四年五月至同五年四月）　ミス ヴヰーシー（自大正四年二月至同五年一月）
ミス ヒンセント（自大正四年二月至同五年一月）
金參圓也　ミス リンゼー（自大正四年二月至同五年一月）
金五圓也　ミス プゼル（自大正四年二月至同五年一月）

〇雜誌「女子青年界」代金領收

金七拾錢也
小西貞子（自大正四年二月至同五年一月）　田畑幸子（自大正四年二月至同五年一月）
鈴木光子（自大正四年二月至同五年一月）　辰野ふゆ（自大正四年一月至同年十二月）
戸村操子（自大正四年一月至同五年十二月）　手塚保子（自大正四年二月至同五年一月）
石澤け（自大正三年十一月至同四年十月）　金澤きん（自大正三年十月至同四年九月）
酒井靜江（自大正三年十一月至同四年十月）　平井いつ（自大正三年十一月至同四年十月）
松永妙子（自大正四年一月至同五年十二月）　前田雪代（自大正四年一月至同年十二月）
宮澤英穂（自大正四年二月至同五年一月）　鹿島芳子（自大正四年二月至同五年一月）
長崎良子（自大正三年一月至同年十二月）　山口いち（自大正五年一月至同年十二月）
淺井はる（自大正四年二月至同五年一月）　松尾きく（自大正四年一月至同年十二月）
明石ろく（自大正四年一月至同年十二月）　岡田夫人（自大正四年一月至同年十二月）

丹羽　滋子（自大正四年二月至同五年一月）　星澤　よし（自大正四年二月至同五年一月）
増澤　とし（自大正三年八月至同四年七月）　上島やえの（自大正四年一月至同五年十二月）
和田　長子（自大正四年二月至同五年一月）　山本みさを（自大正三年五月至同四年四月）
松紅　文子（自大正四年一月至同年十三月）　神戸女學院（白大正四年二月至同五年一月）
バプテスト女子學寮（自大正四年二月至同五年一月）
山梨英和女學校（自大正四年二月至同五年一月）
金拾圓〇八錢也　櫻府日本女子青年會（大正三年十一月號百部）
金七拾五錢也　懸田みさを（自大正四年一月至同五年一月）
金貳拾壹錢也　佐藤　しげ（自大正三年十月至同年十二月）
阪本　花代（大正三年二月號三部）
金壹圓六拾八錢也　早川　京子（自大正二年十月至同五年一月）
金六圓〇九錢也　共立女學校（大正四年一月號八十七部）
金四拾貳錢也　多々羅せつ（自大正四年二月至同年八月）
金六拾五錢也　大槻　愛子（自大正三年十二月至同四年八月）
金貳圓貳拾錢也　中村　玉子（大正三年十二月號及四年一月號各十五部）
金貳拾錢也　岩光　八重（大正三年度不足分）
金壹圓五拾四錢也　高杉かれを（大正四年二月號二十二部）
金參拾五錢也　黒澤　みつ（自大正四年二月至同年七月）

National Committee

Headquarters. 12Tamachi Sanchome, Ushigome,Tokoy

Mrs. Hana Ibuka, Chairman
Dr. Kei Okami, Vice-Chairman
Miss Tami Mitani, Secretary
Dr. Tomo Inouye, Treasure
Miss Michi Kawai,
Active Member World's Committee

Resident Members	Non-Resident Members
Miss Ume Tsuda	Madame Asa Hirooka, Osaka
Miss A. B. West	Mrs. Koito Saiki, Kyoto
Miss Uta Suzuki	Miss M. F. Denton, Kyoto
Miss Kita Hasegawa	Miss Michi Matsuda, Kyoto
Miss Sarah Ellis	Miss Yoshi Kajiro, Okayama
Miss Chiyo Yamada	Miss K. Tristram, Osaka
Mrs. E. W. Clement	Miss Susan Searle, Kobe

Secretaries

Miss Michi Kawai, National
Miss A. C. Macdonald, National,
Miss Ruth Ragan, National Office
Miss Margaret Matthew, on Furlough
Miss G. R. Watney, Acting General, Tokyo
Miss Mary Page, Acting Associate, Tokyo
Miss Emma R. Kaufman
Miss M. Baker General, Yokohama

本誌定價	
一部（郵共）金七錢	一ヶ年分 金七拾錢
海外 金拾壹錢	金壹圓廿四錢

廣告料	
一頁 金六圓	半頁 金三圓五十錢
四分ノ一 金貳圓	一行 金貳拾錢

大正四年二月廿六日印刷納本
大正四年三月一日發行

發行所　東京市牛込區田町三丁目十二番地　日本基督教女子青年會
編輯兼發行人　東京市牛込區田町三丁目十二番地　河井道子
印刷人　東京市芝區櫻田和泉町七番地　前川吉次郎
印刷所　東京市芝區櫻田和泉町七番地　三成舍

THE YOUNG WOMEN OF JAPAN

March, 1915

As many of our friends are foreigners who perhaps do not have time to read in Japanese all the news of the Young Women's Christian Association, "The Young Women of Japan" will devote a page each month to English notes of the work.

At the recent meeting of the National Committee three new Associations were affiliated,-Baika Kindergarten Training School at Ueda, Hirosaki Girls' School, Azabu Toyo Eiwa Girls' School. With these and Sohin Girls' School at Kanagawa, affiliated during the autumn, there are twenty-three Associations with a membership of 2300. Seven Associations directly supervise twenty-three Sunday schools, and five help in twenty-five schools not under their supervision. Although most of the Associations are in mission schools with required Bible study there is an enrollment of 480 girls in thirty-nine classes of voluntary study. Missionary gifts for home and foreign work amounted to Yen 450. One student Association had a budget for the year of over Yen 400. More than one hundred fifty girls have become Christians during the year.

Appreciation of the rest rooms in Yokohama for the use of girls in offices has been shown in a practical way by a woman who went north to a factory town. She interested some friends and rented a small house which was opened to the factory girls and others. She had no money for furnishing but the people themselves have contributed articles little by little, and the rooms are much used. Lengthened hours on some of the factories have stopped some of the girls from going, but several with half an hour at noon eat their lunch in five minutes and spend twenty at the rooms. Simple lessons, sewing and Christianity are taught. Miss Kawai stopped there recently and talked to one hundred sixty people in the evening, and sixty people at noon the following day.

The National Committee of the Young Women's Christian Association of Japan has been recently incorporated as a "zaidan", and the two hostels and the land of the new central building in Tokyo have been transferred to it. Work on this building has begun.

女子學院

生徒募集

新學年開始　四月八日
入學試驗　同月七日
願書受附　四月五日迄

本科一年　五十名　尋常小學校卒業者ハ無試驗ニテ本科一年ヘ入學許可ス

本科二、三、四年及高等科一、二年　各補欠若干名試驗ノ上入學許可ス

女子學院は都下有數の宗教主義の學校にして創立四十年餘の長き經歴と實驗とを以て內外の教師熱心指導の任に當る

廣き校舍と校庭とを有し少數の生徒を收容して專ら親切を旨として宗教により人格高き女子を教養す

寄宿舍は二棟ありて內外の教師生徒と起臥を共にし懇切を極めて友誼甚だ厚し詳細は規則書によりて見らる可し

女子青年界第拾貳巻第三號

大正四年二月廿六日印刷納本大正四年三月一日發行 明治卅七年五月七日第三種郵便物認可